

**日本人の宗教的態度**  
**Japanese Attitudes towards**  
**Religion**

Nozomu Sonda

ABS Conference, Tokyo, 2007

日本人は宗教嫌いか？  
Do Japanese Abhor “Religion”?

# 日本人は宗教嫌いか？ 1

## Do Japanese abhor religion? 1

- 福井のおばあちゃんちから帰ってきておばあちゃんから一冊の小冊子をもらいました。おばあちゃんは真宗？の熱心な信仰者です。．．．おばあちゃんの家には大きな仏壇があります。おじいちゃんが死ぬずっと前からあって普通だと、家に仏壇があると誰かお亡くなりになったの？という事になりますが．．．毎日、念仏を唱える為にあるのです。おばあちゃんの考えは家には絶対仏壇がないと[いけない]！．．．私自身は、無宗教ということになると思いますが、多分死んだら仏教のお葬式になると思いますが。クリスチャンではないので、美術的にお寺や仏画にひかれますが、どこのなになに派でないと、ということはいくつかわかりません。ただ、おばあちゃんはおばあちゃんの信じる仏様の世界の中に生きていてとても生き生きと元気はつらつであるということは自他ともに認める事実でありおばあちゃん健康にいいというか、精神的にすごく生き生きしています。無宗教で、鬱で何の望みもない若者よりも人生をすごく楽しんでいるようです。

# 日本人の宗教嫌いか？ 2

## Do Japanese abhor religion? 2

おばあちゃんが書いてくれた言葉に 今のちがあなたを生きている ということばがありました。私の命は私の物ではなくて仏様のいのちが私の中を生きただけで最後には仏に戻るということらしいです。

人間に産まれたという事は仏様からシャバにでて仏法を聞いてこいと願われてこの世に出されたので、仏法を聞かなかん！といわれました。

実際の所、私はそんなに熱心にはなれませんが、おばあちゃんから絵と一句が書いてあるカレンダーをもらったので家にかけてきました。絵もかわいいし、(『厳しさよりも優しさの中で強さは育つ』という格言が書かれてるカレンダー)と思ってかけといたら外されていました。

犯人は夫です。夫は大の宗教嫌い。こんなのかけたら帰ってこないからな！と言われました。

あいだみつをみたいなカレンダーだけで過敏に反応しています。しょうがないので私の部屋にかけてきました。おばあちゃんは信仰熱心で、愛する夫は自分しか信じない宗教嫌い。

**第三次宗教ブーム**  
**The 3<sup>rd</sup> Religious Boom**

# 第三次宗教ブーム

## The 3<sup>rd</sup> Religious Boom

- 第一次宗教ブームは、幕末から明治維新にかけて「金光教」「黒住教」「天理教」などが氾濫した時期。
- The 1<sup>st</sup>: End of Edo Period to Meiji Restoration: Konko, Kurozumi, Tenri

# 第三次宗教ブーム

## The 3<sup>rd</sup> Religious Boom

- 第二次宗教ブームは、第二次世界大戦前後に誕生し勢力をのぼした「創価学会」「立正佼成会」「ひとの道(現PL教団)」など。
- The 2<sup>nd</sup>: Before/after WW II: Sokagakkai, Risshokoseikai, Hito-no-Michi (PL)

# 第三次宗教ブーム

## The 3<sup>rd</sup> Religious Boom

- 第三次宗教ブームでは、「希心会」「日本聖道教団」「エホバの証人」「太陽に祈る会」「真光文明教団」「崇教真光」「天心大霊神会」「GLA」「大山祇命」「真如苑」「誠成公倫会」「オウム真理教」「幸福の科学」など”宗教の大博覧会”である。
- The 3<sup>rd</sup>: A host of new religious organizations emerging afterwards: Jehovah's Witnesses, GLA, Shinyoen, Aum-sinrikyo, Science of Happiness, etc.



# 第三次宗教ブーム

## The 3<sup>rd</sup> Religious Boom

- 「これだけ宗教団体が  
多いのはどうしてなの  
か。一口にいえば、こ  
の国は世界でも珍しい  
無宗教国家なのであ  
る。」
- “The reason for this many  
religious organizations is  
because Japan is an  
exceptionally “irreligious”  
nation!”

# 文化庁統計

## The Ministry of Culture Statistics

(2000年、2005年、2006年12月31日現在)

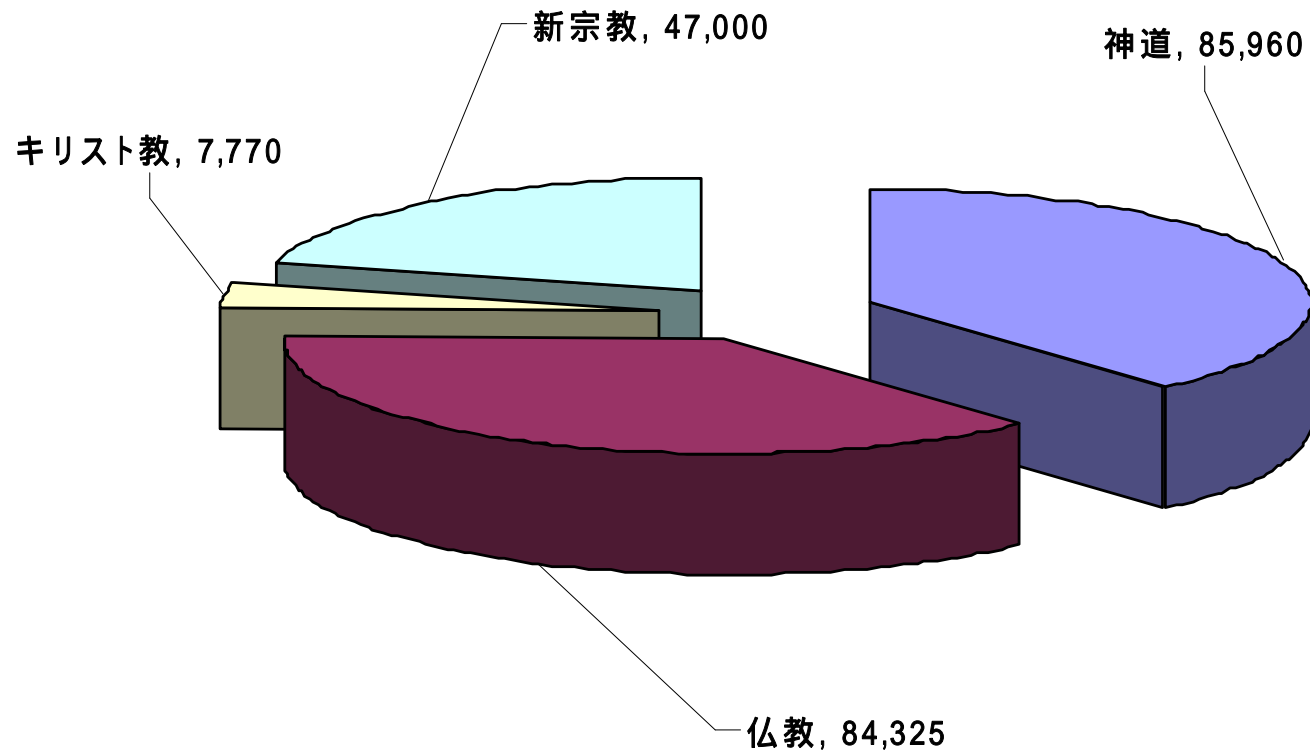
<http://www.relnet.co.jp/relnet/brief/r3-1.htm>

(retrieved on Sept. 15, 2007)

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/001/index39.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/001/index39.htm)

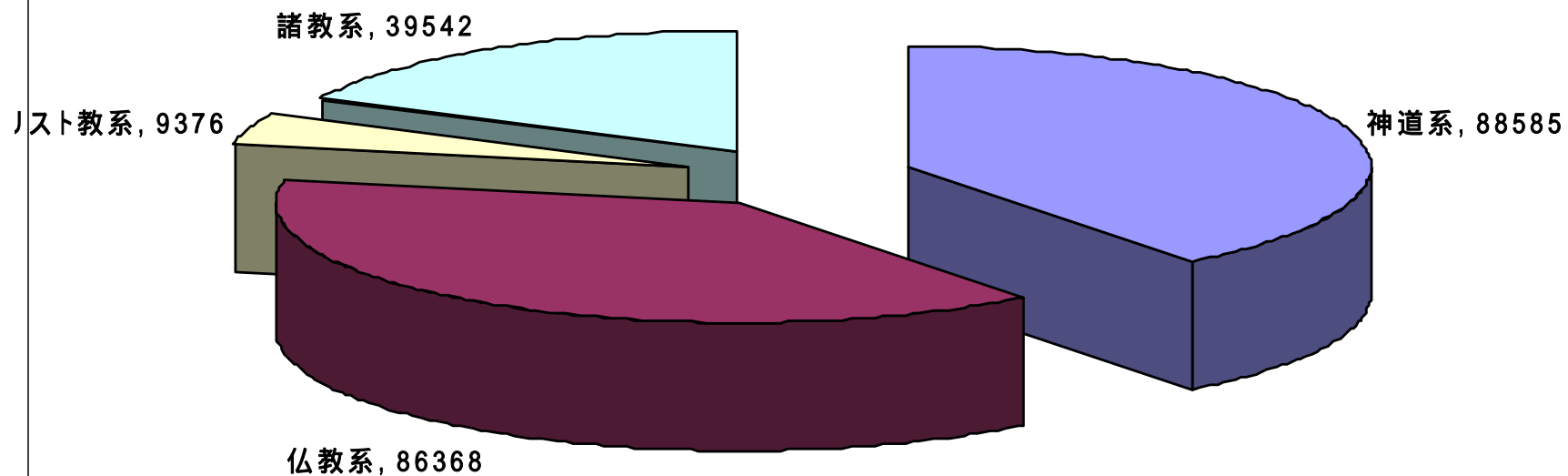
(Retrieved on Sept. 20, 2007)

# 宗教団体数 2000年



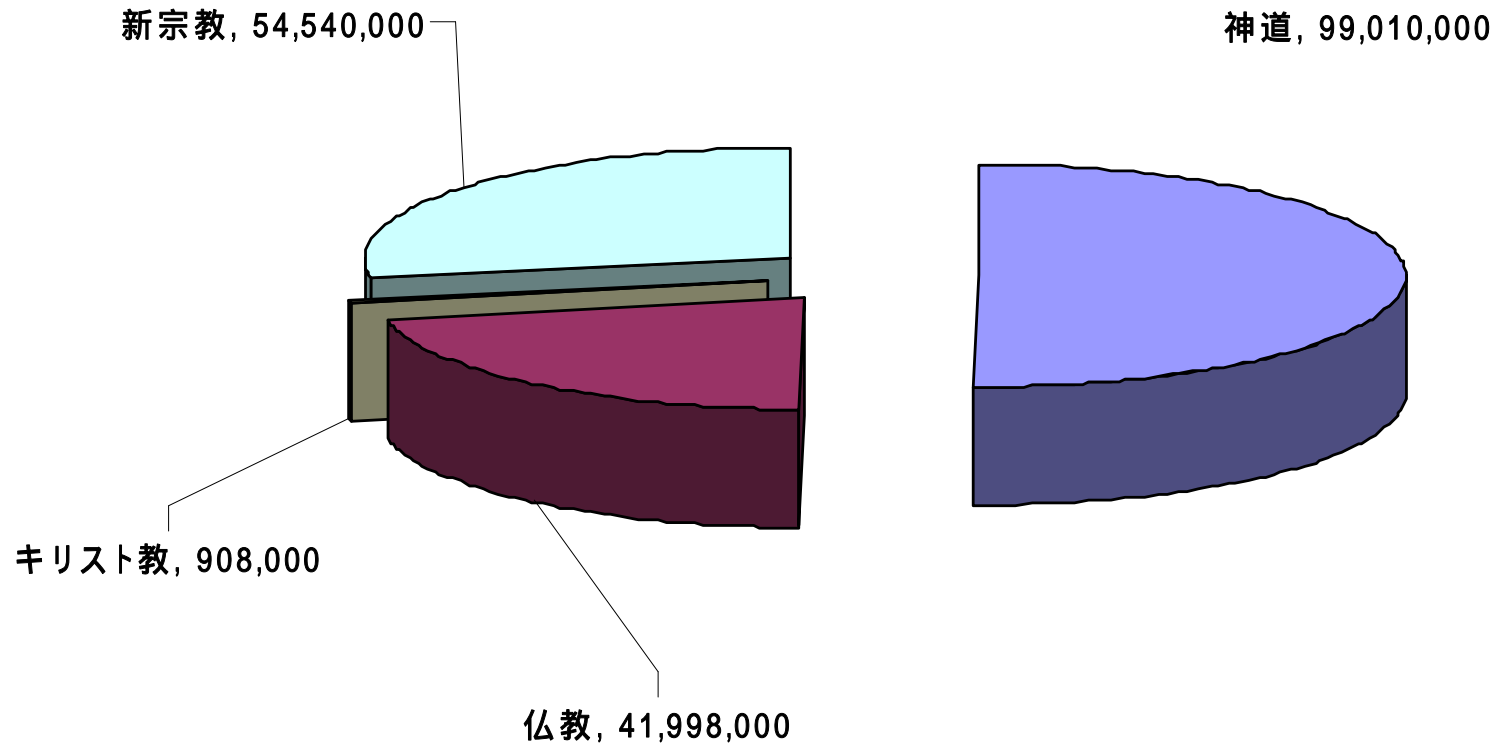
Number of Religious Organizations 2000

# 宗教団体数 2006年



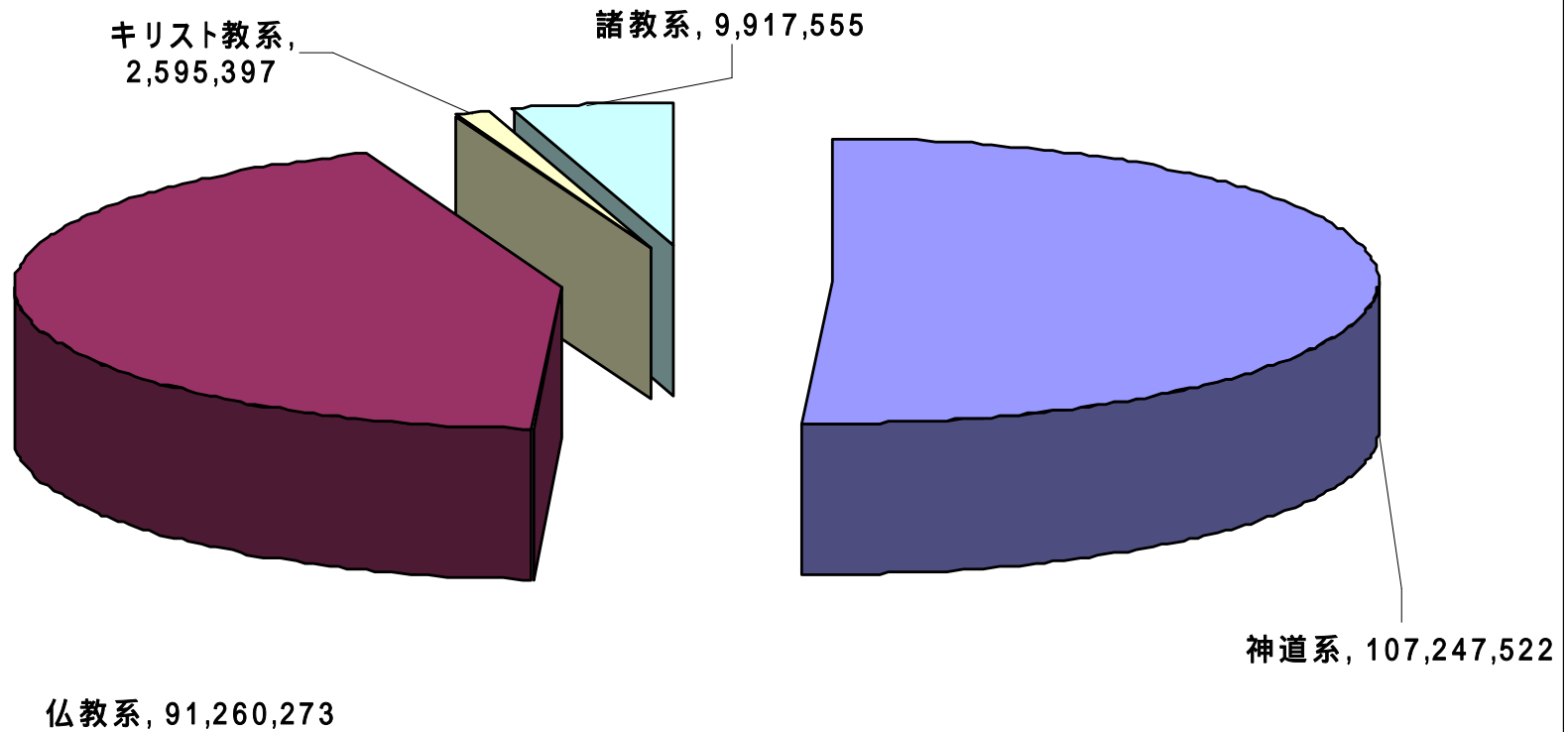
Number of Religious Organizations 2006

# 宗教別信者数 2000年



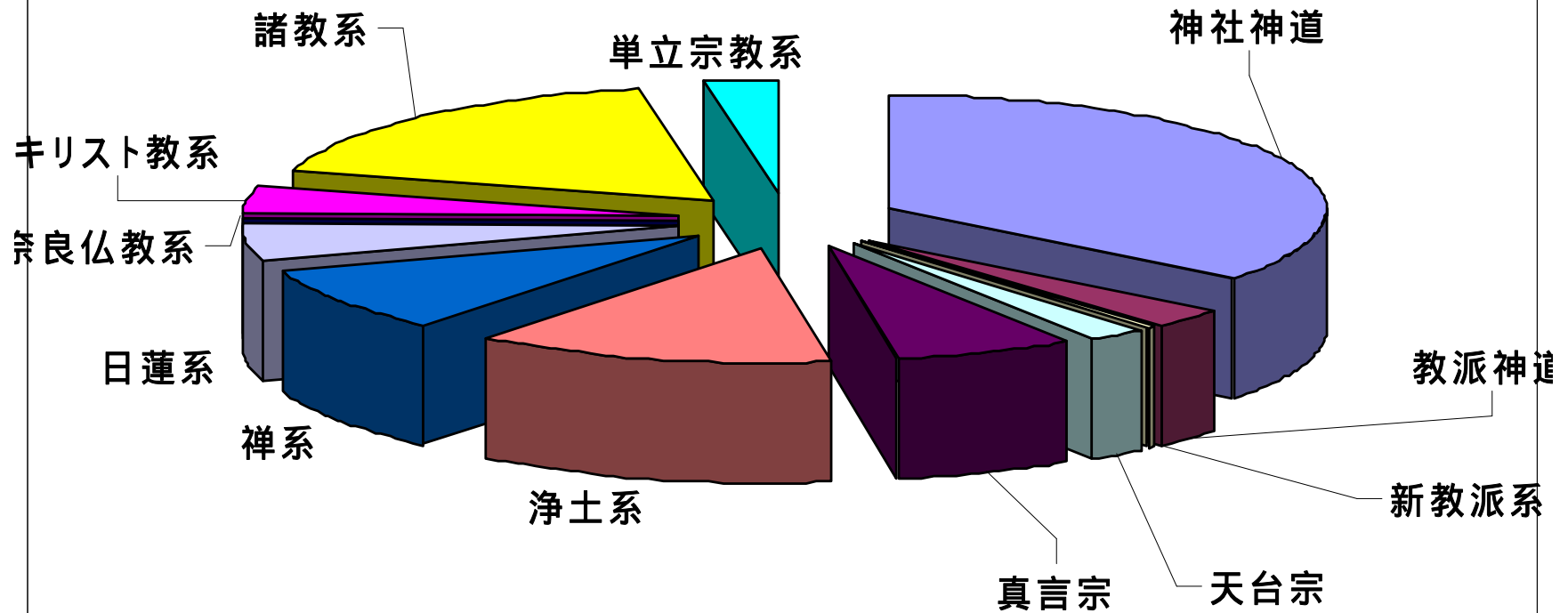
Number of Believers by Religions 2000

# 系列別信者数(2006年)



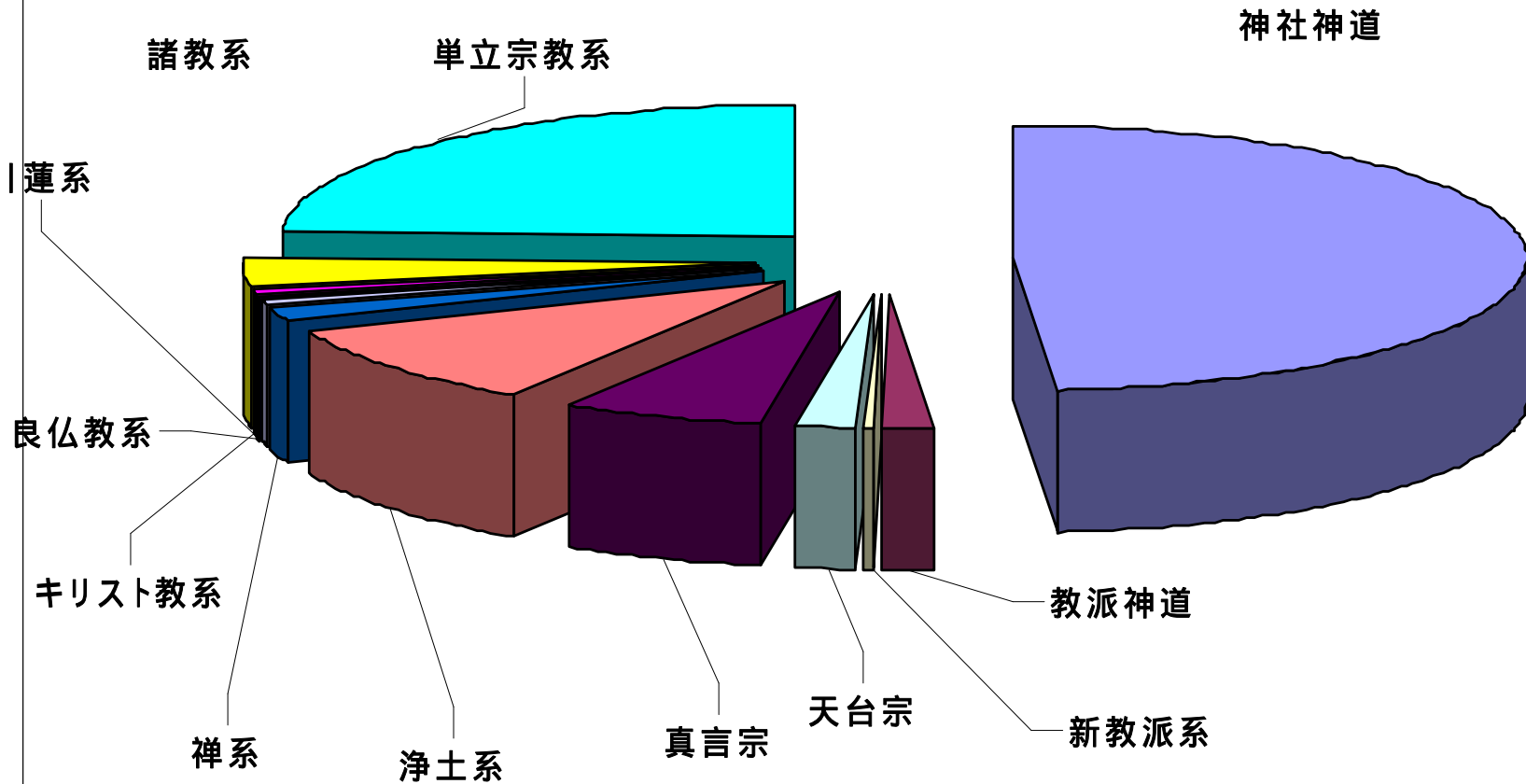
Number of believers by Religions #2 2000

# 宗教団体数(詳細) 2000年



Number of Religious Organizations (Detailed) 2000

# 宗教別信者数(詳細) 2000年

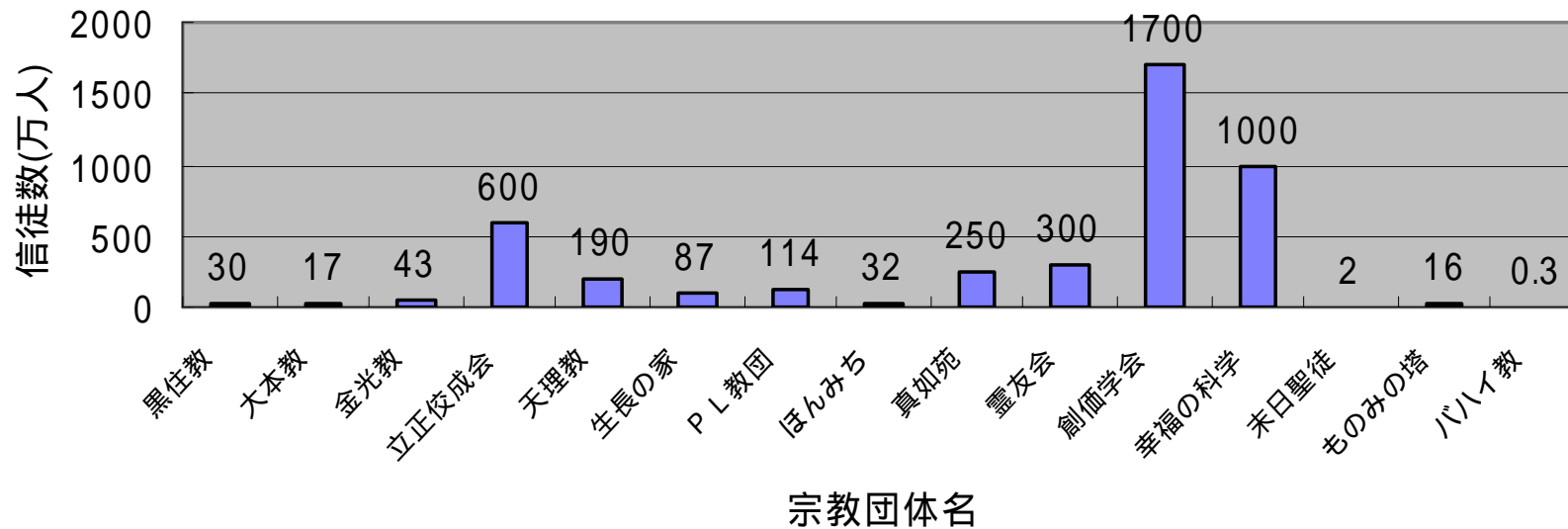


Number of Believers by Religions (Detailed) 2000



# 新宗教団体の信徒数比較

(「新宗教事典」、1990による、ただし、「創価学会」は「新宗教事典:本文編」、1994、p.195による)

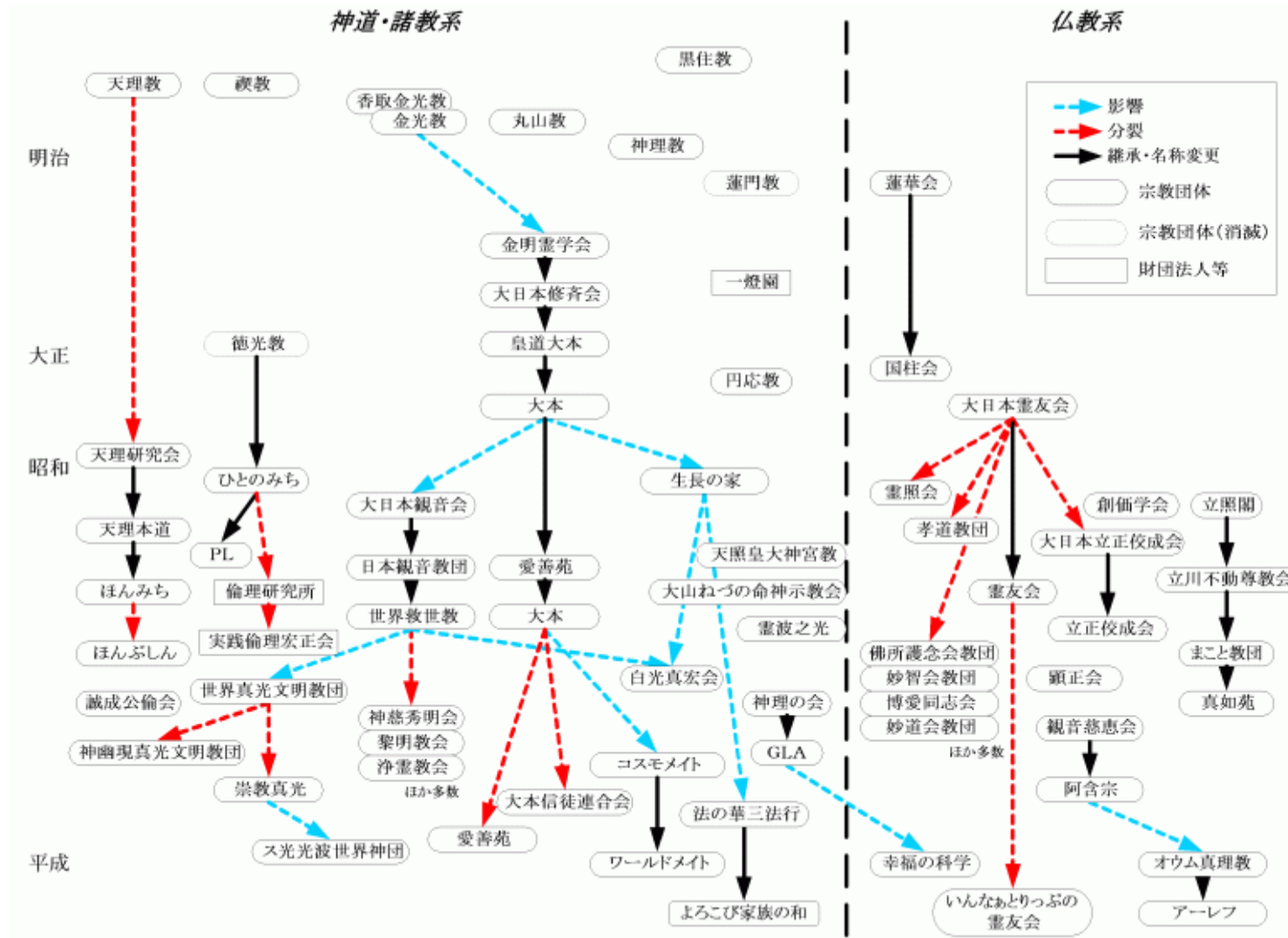


Number of Believers by “New” Religious Organizations

# 日本の新興宗教相関図

(2005.1.2 Ver.0.3)

## Relational Chart of New Religions

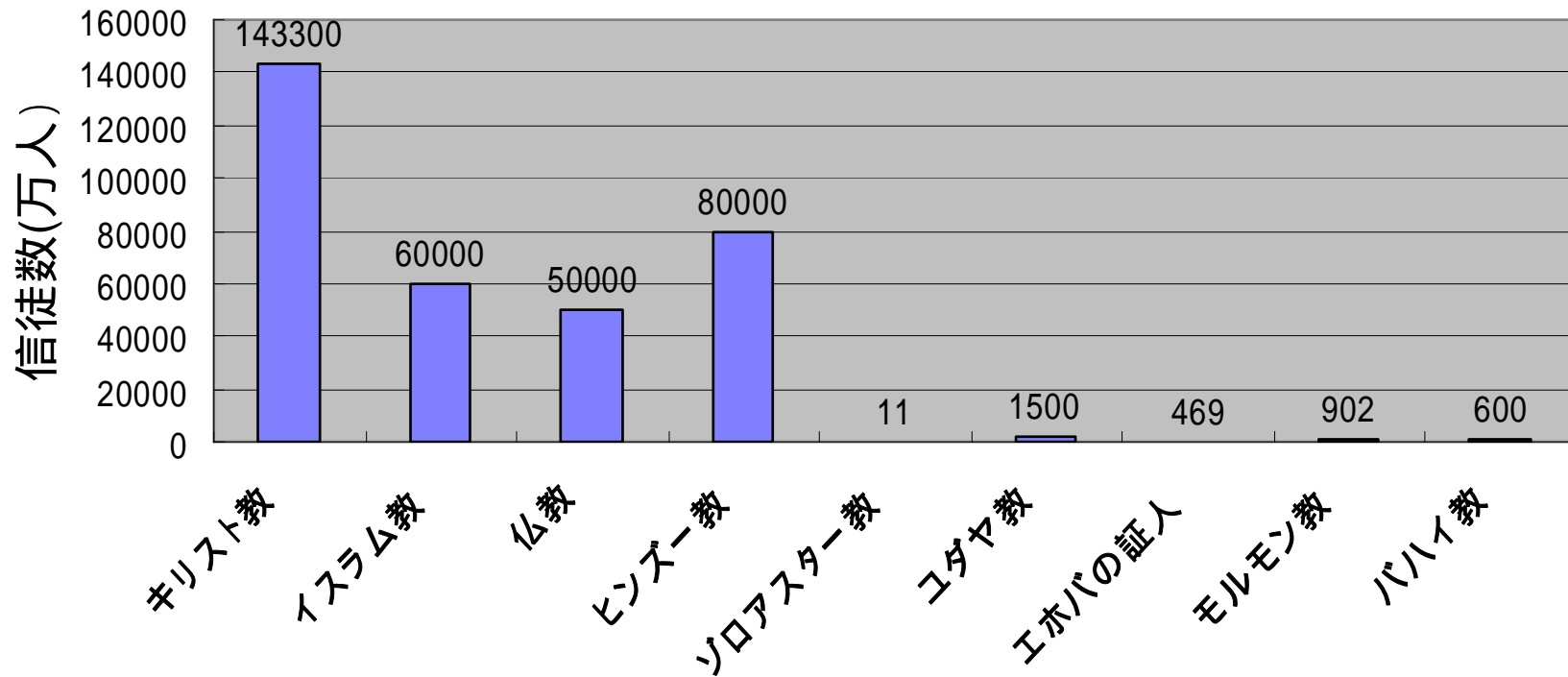


<http://park8.wakwak.com/~kasa/Religion/relational.html> (retrieved on Sept.

2007)

# 世界の主な宗教と新宗教の信徒数

(「世界宗教大事典」、1991による)



Number of Believers by Religions of the World 1991

**宗教意識調査プロジェクト  
第7回アンケート調査**

**Kokugakuin University Religious  
Education Project 2001**

**Survey of Religious Attitudes of College Students**

(國學院大學日本文化研究所、宗教教育プロジェクト)

責任者：井上順孝教授

対象：38の大学・専門学校 5759人の学生(有効回答数)

実施年：2001年

「オウム真理教事件」以来7年連続で実施(7年目)

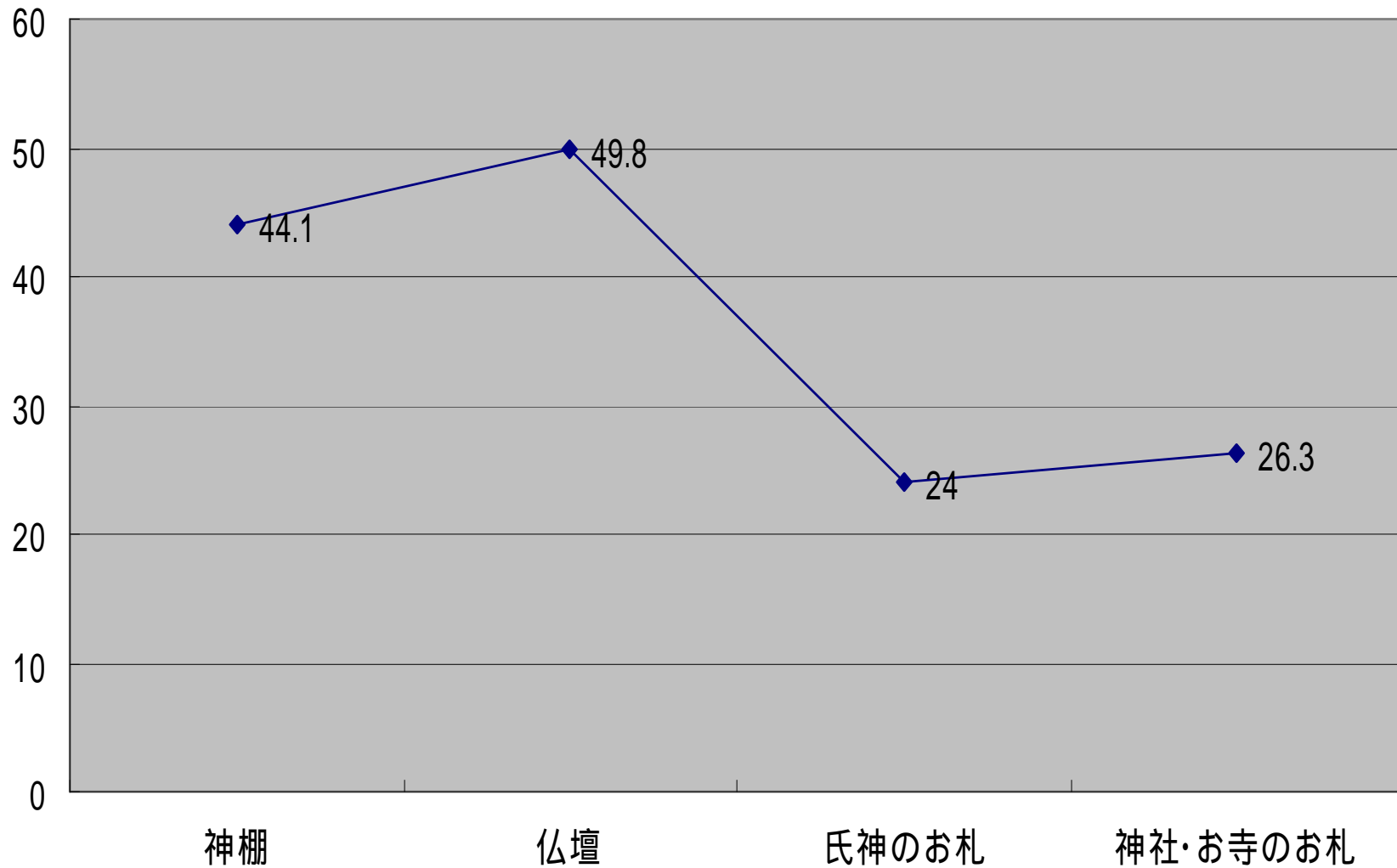
(産経新聞2001年11月20日より転載)

<http://www.ne.jp/asahi/koto/buki/bukkou/syukyo/syukyo.htm>

(retrieved on Sept. 15, 2007)

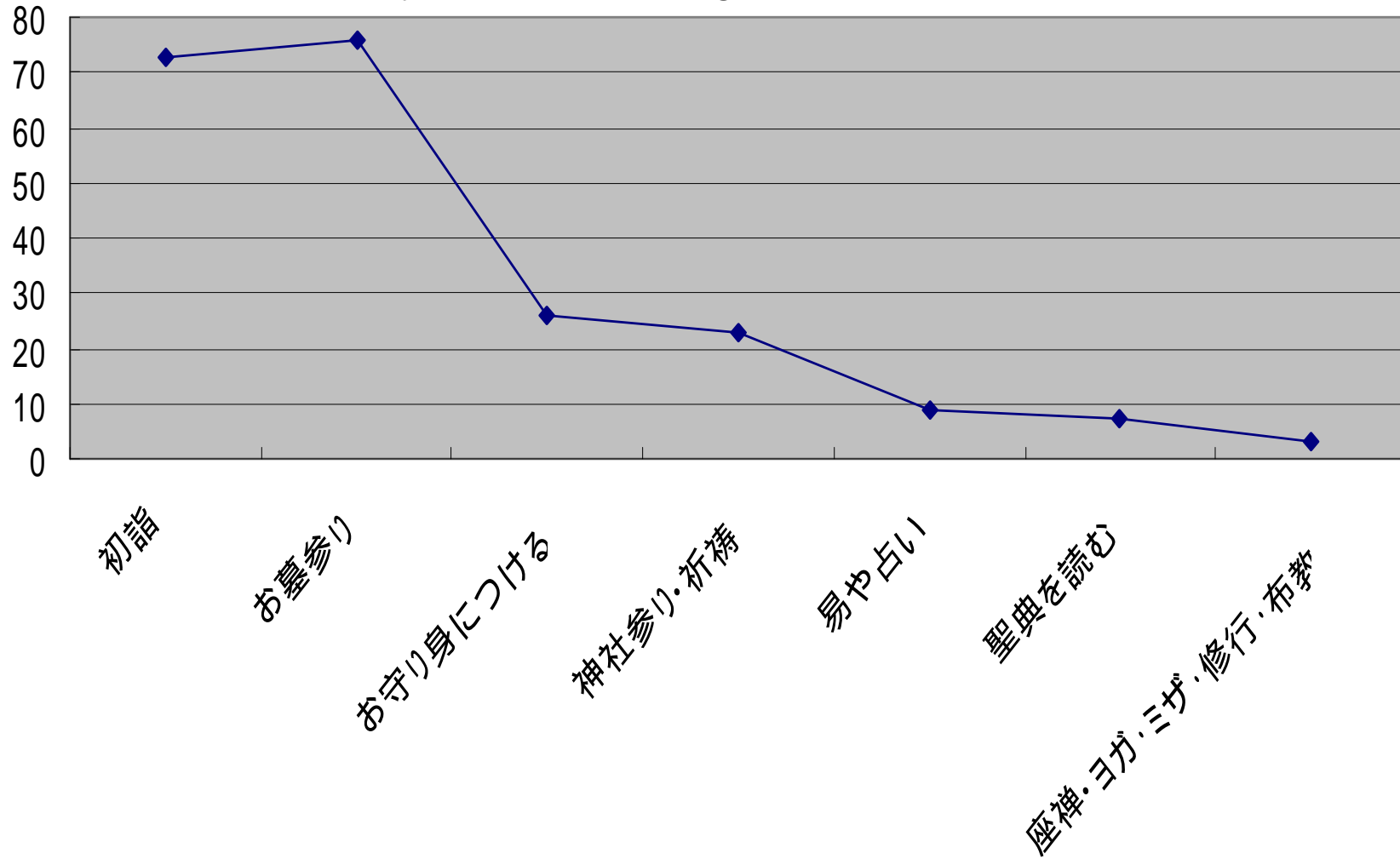
# 次の物が家にありますか？

Do you have these things at home?



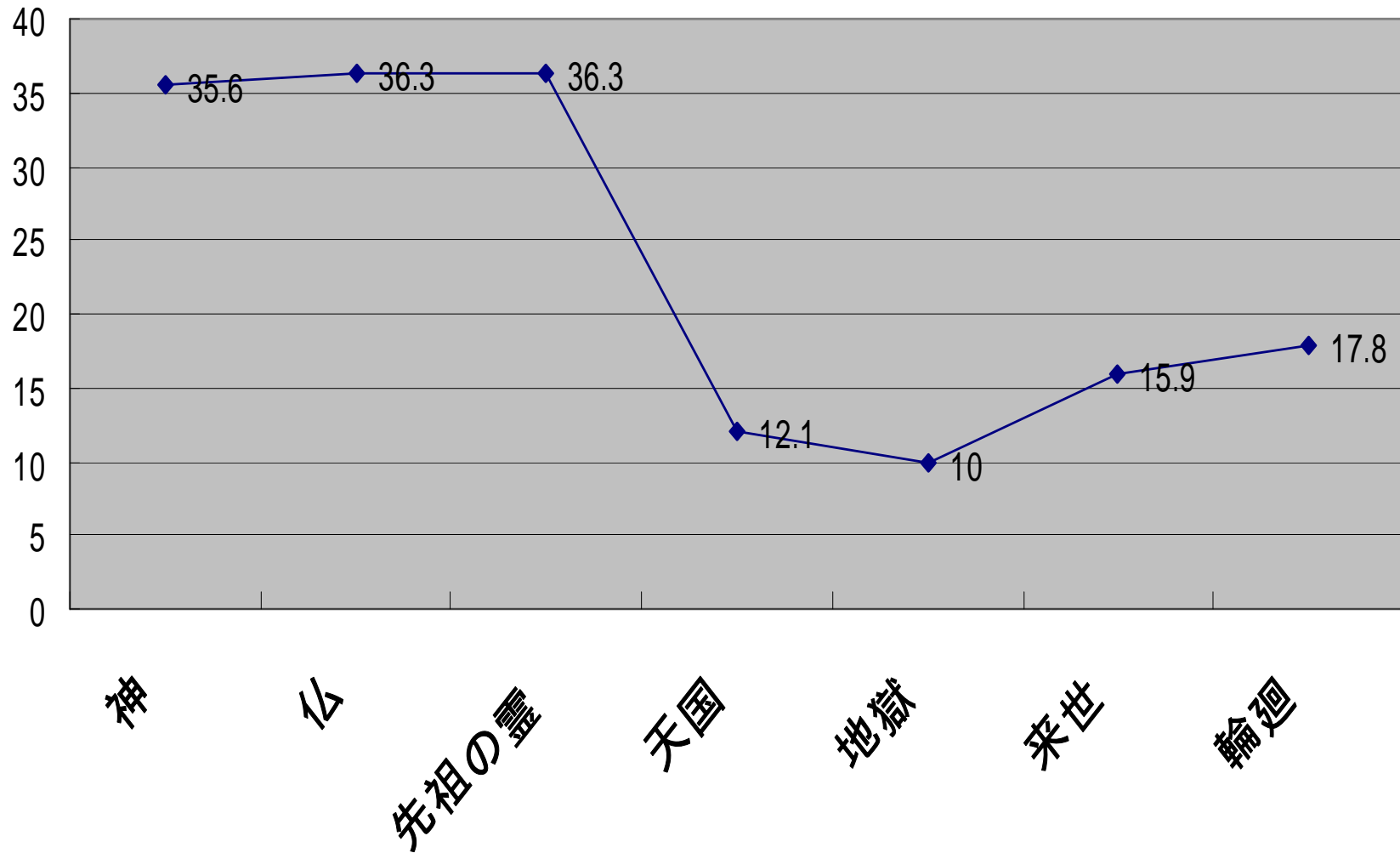
# 次のことをしますか?

Do you do these things?



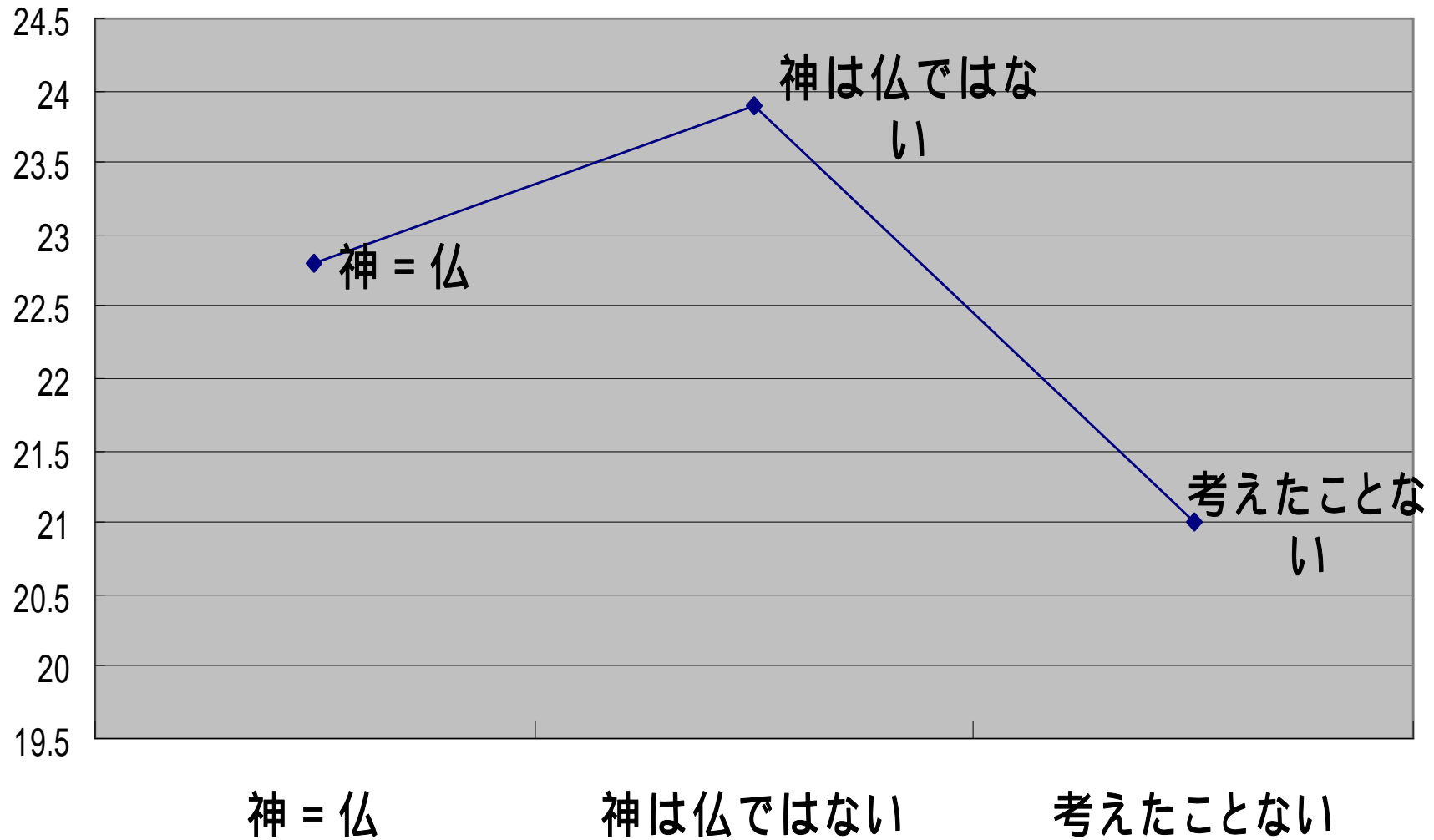
# あなたは信じますか?

Do you believe in the following?



# 神と仏

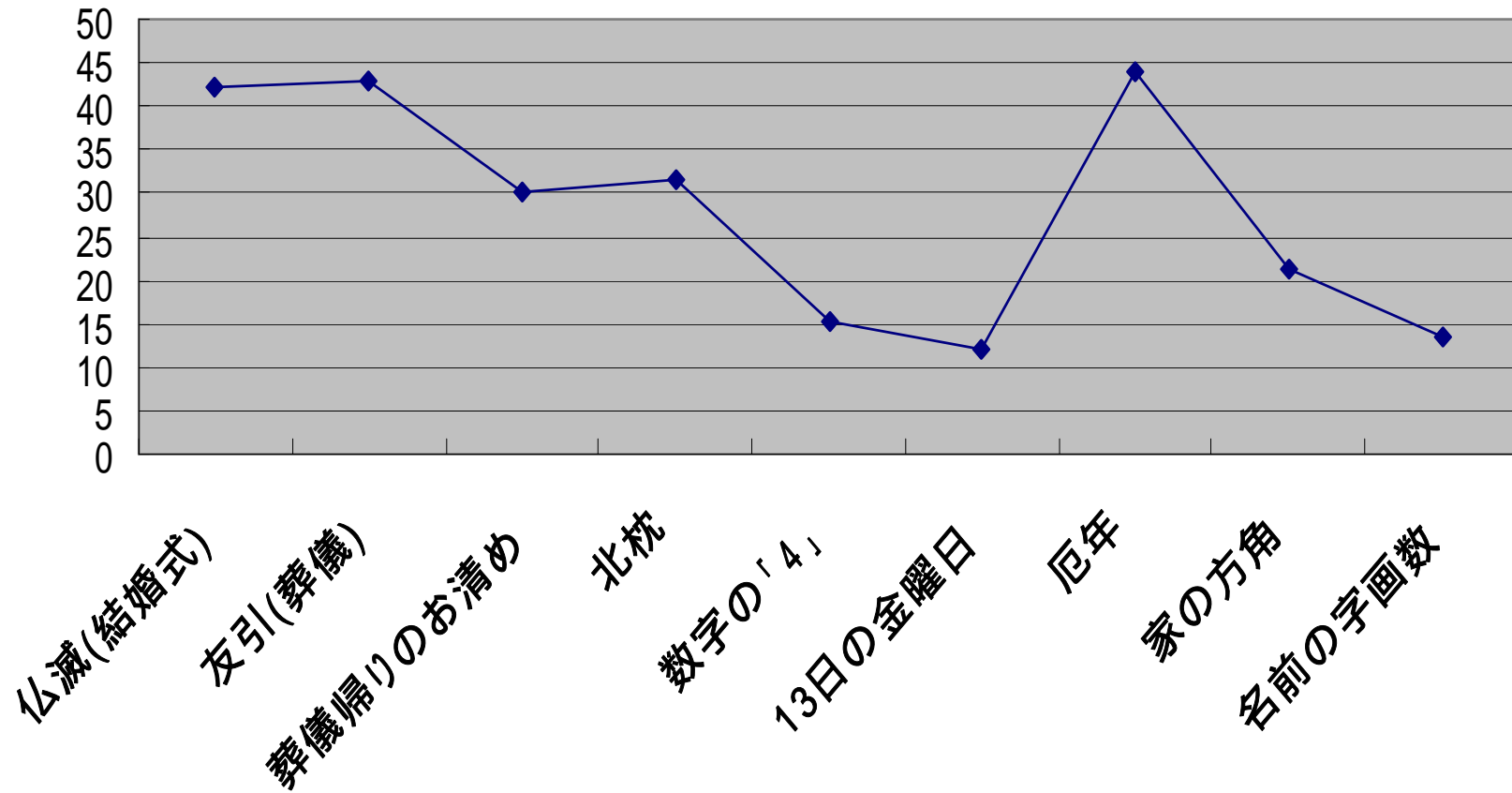
What do you think is the relationships between “Kami” and “Hotoke”?





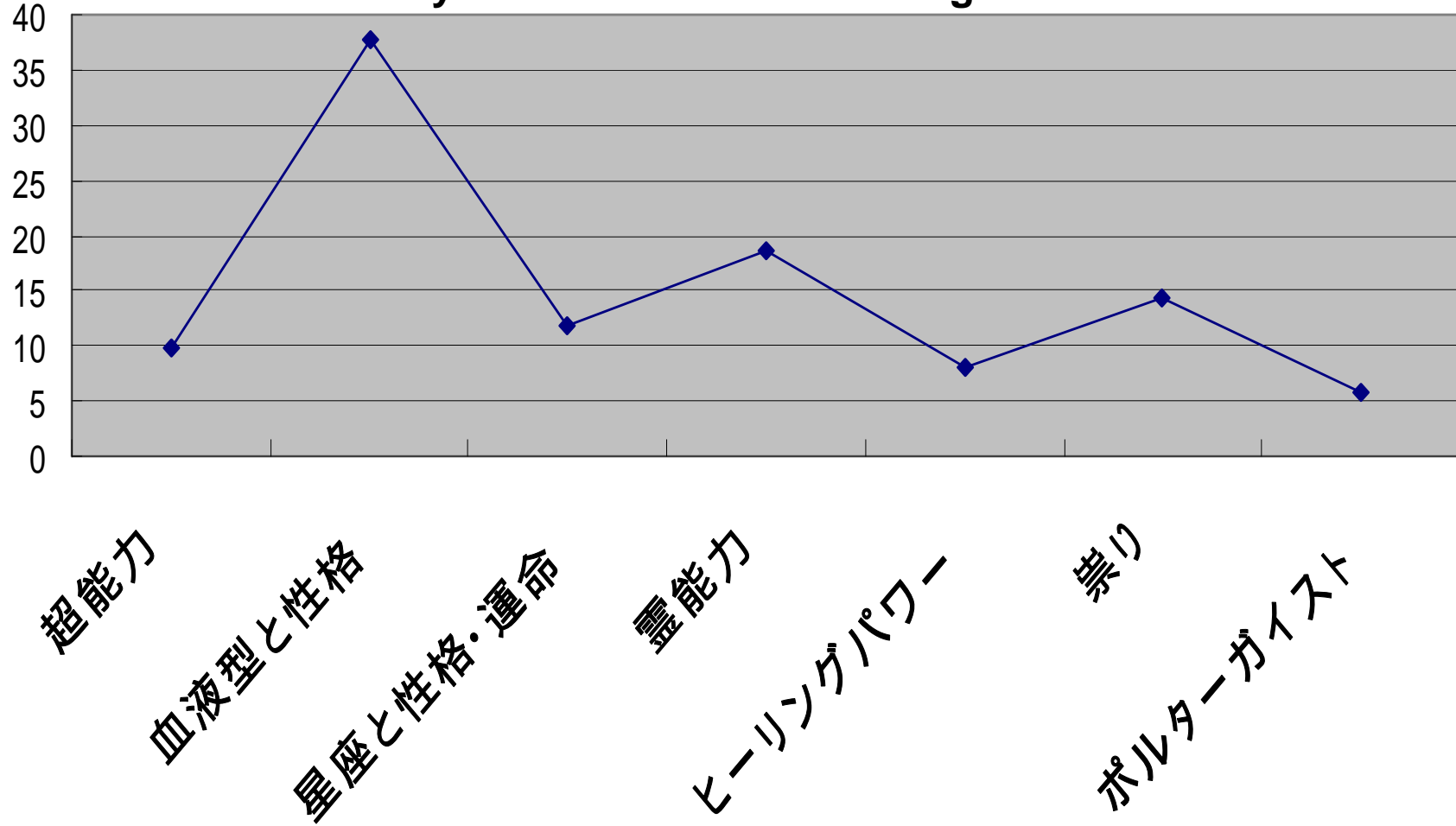
# 関心ありますか・懸念していますか？

Are you interested/concerned about the following?

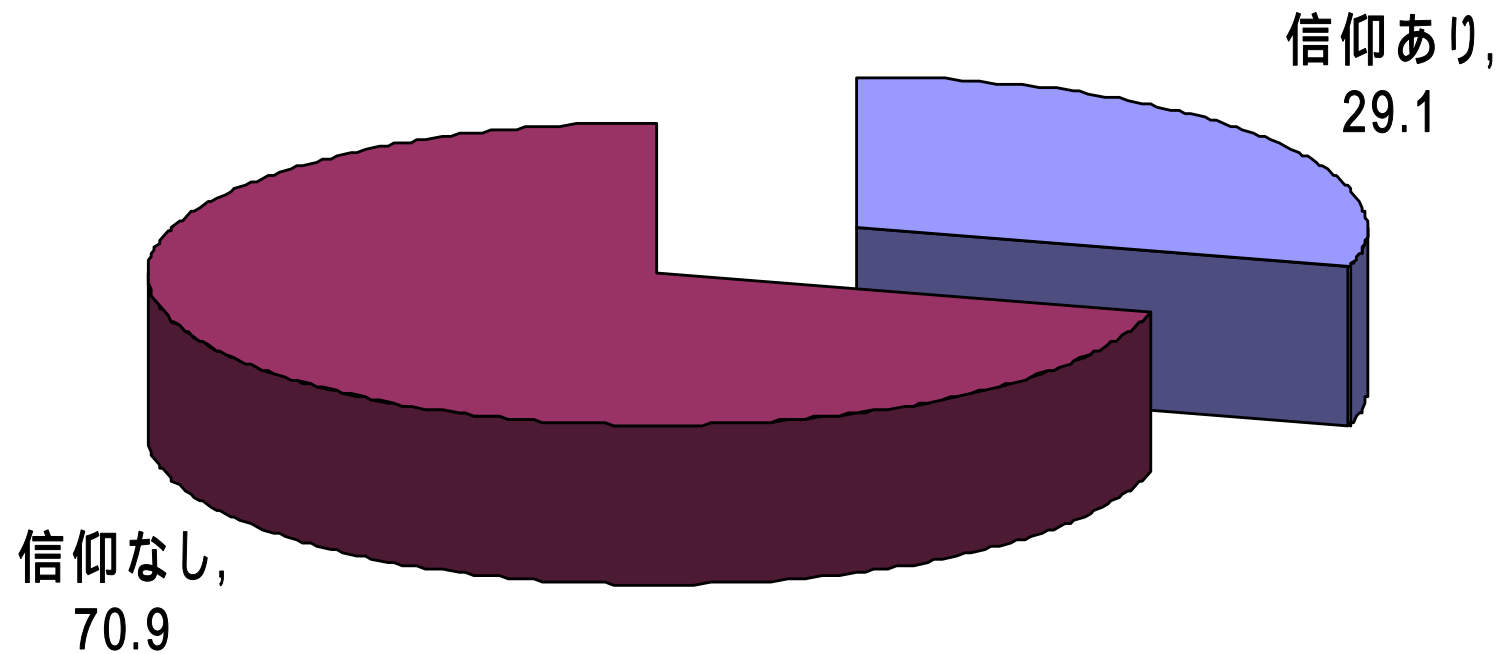


# あなたは信じますか？

Do you believe in the following?

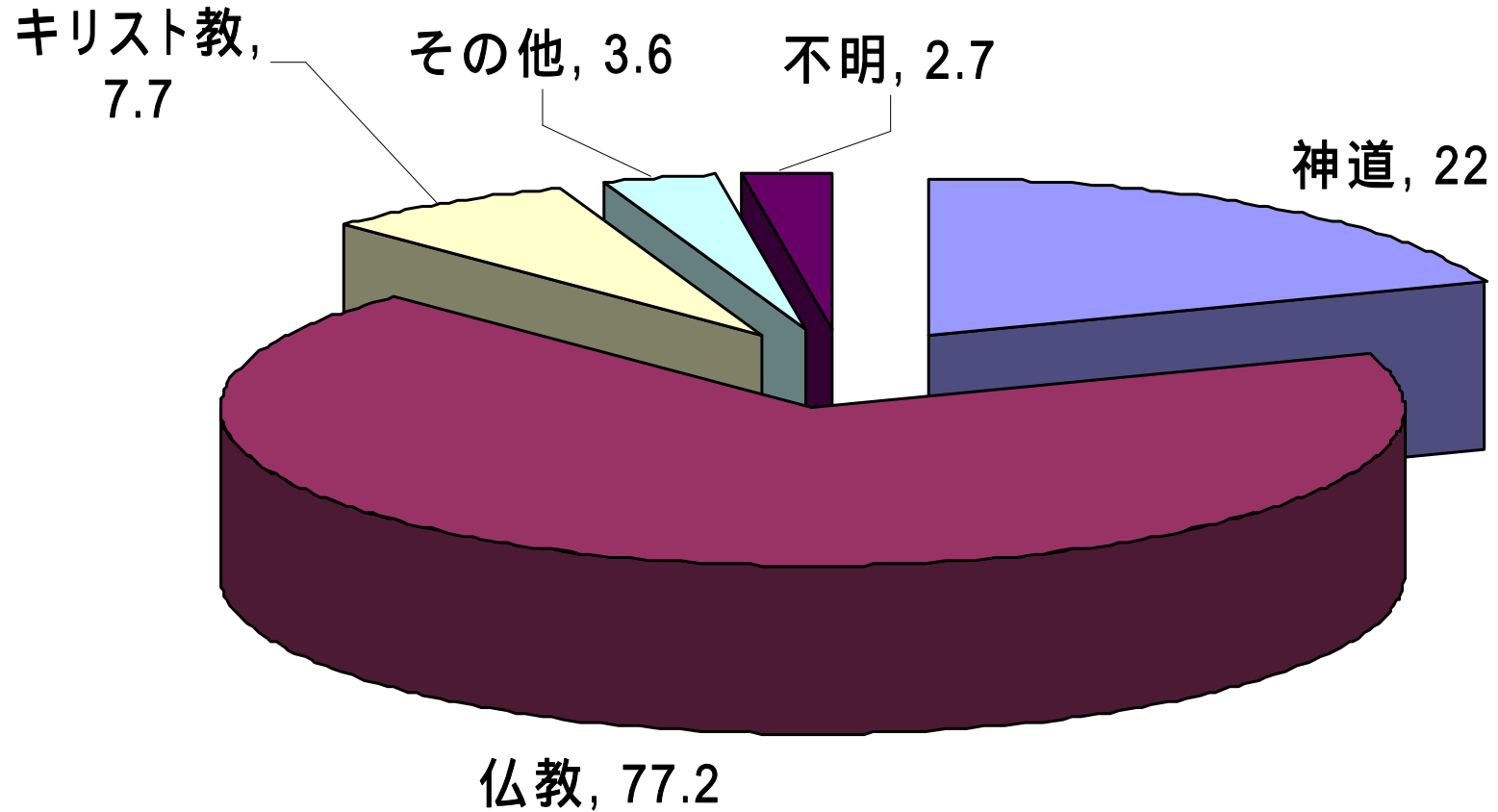


# 信仰のありなし



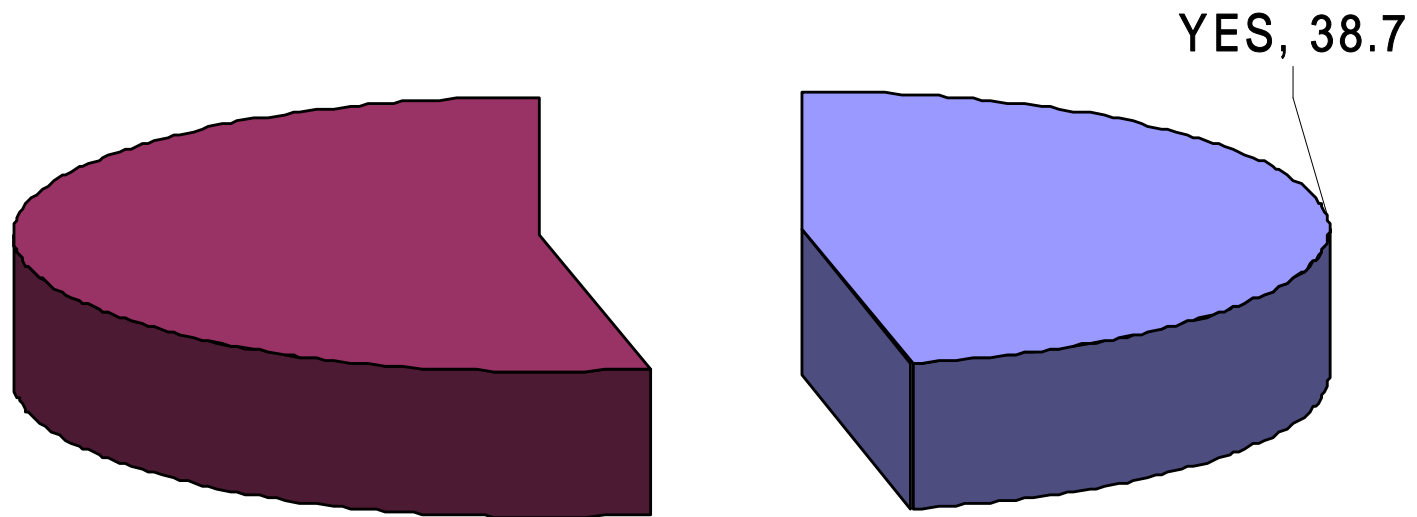
Do you have your own "faith"?

# 信仰の分類



Categorization of the "faith"

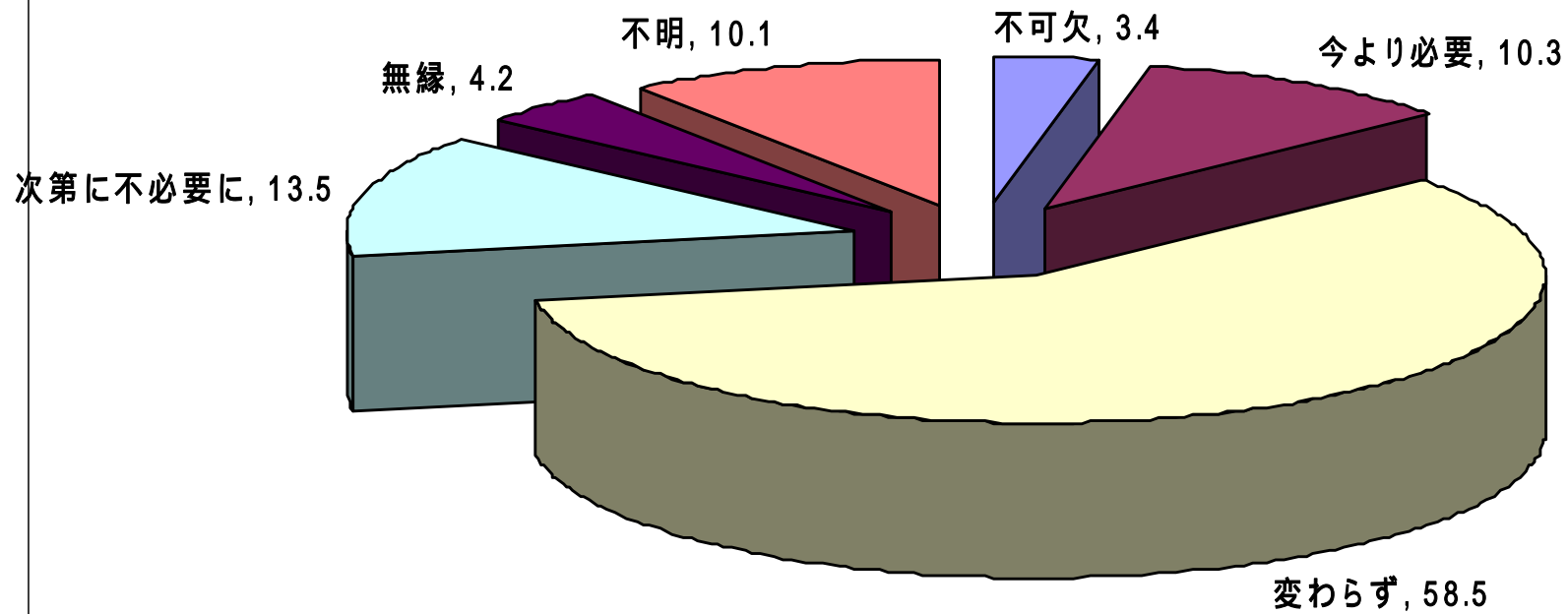
# 宗教は幸福に必要なか



NO, 44.2

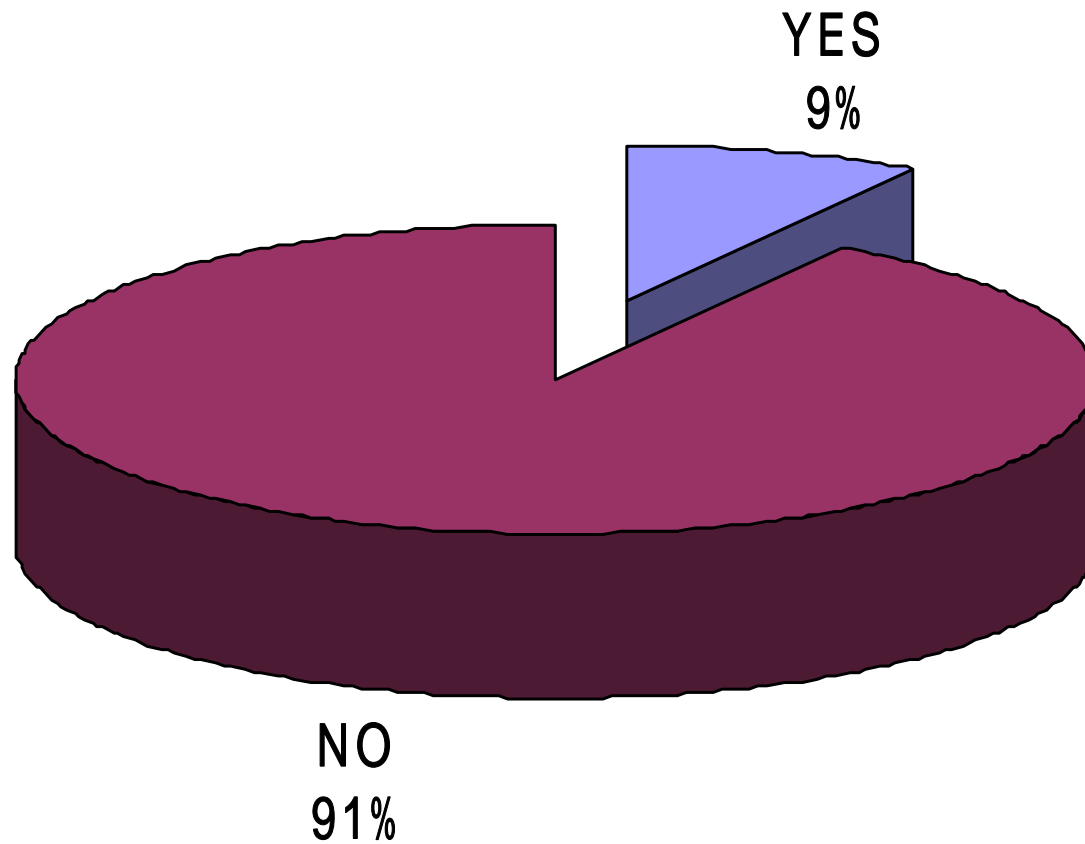
Is religion necessary to be happy?

# 宗教は将来の日本に必要か？



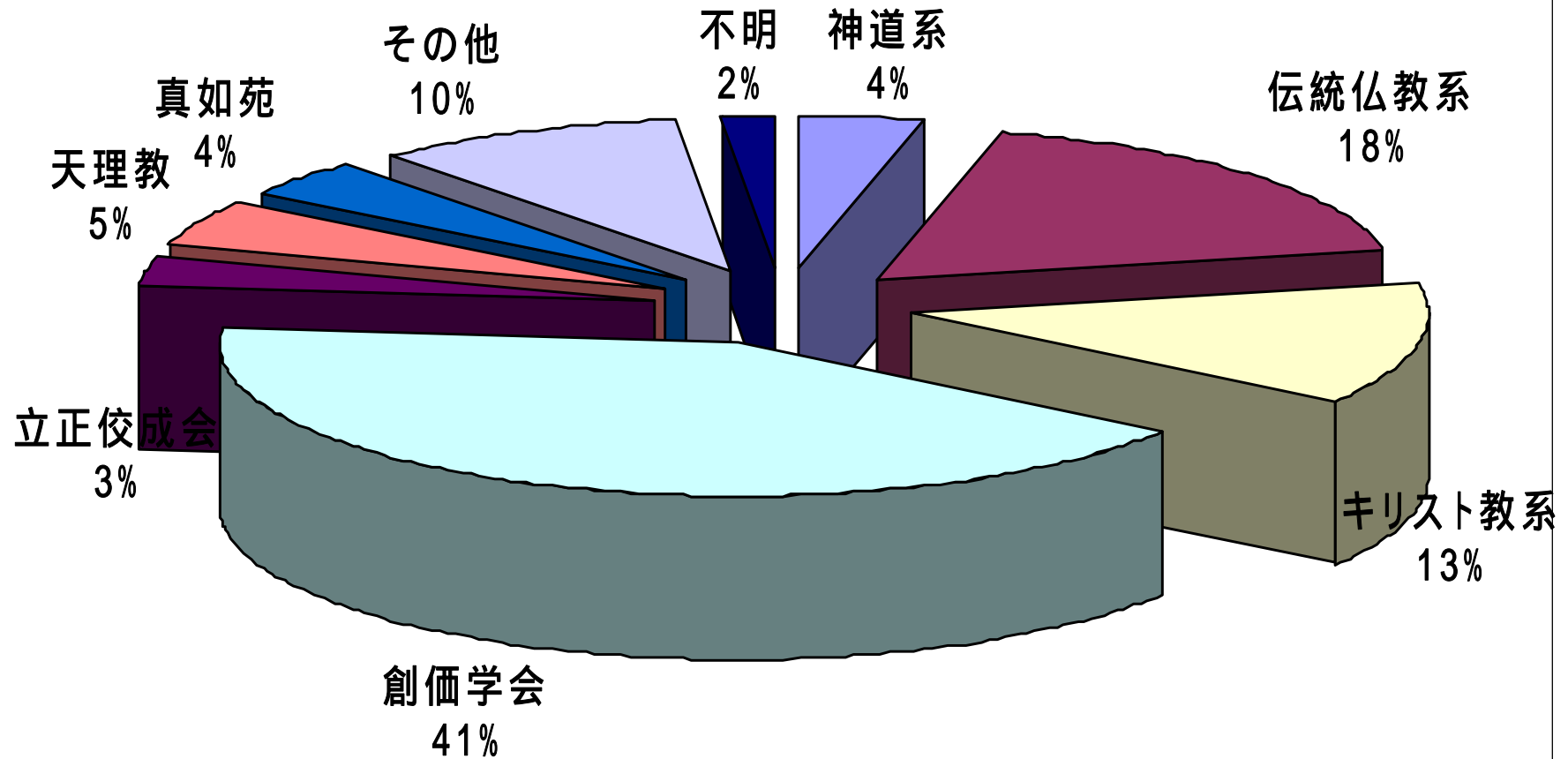
Will religion become necessary for Japan in the future?

# 宗教団体に属している？



**Do you belong to any religious organization?**

# 属している宗教団体



Categorization of Religious Affiliations

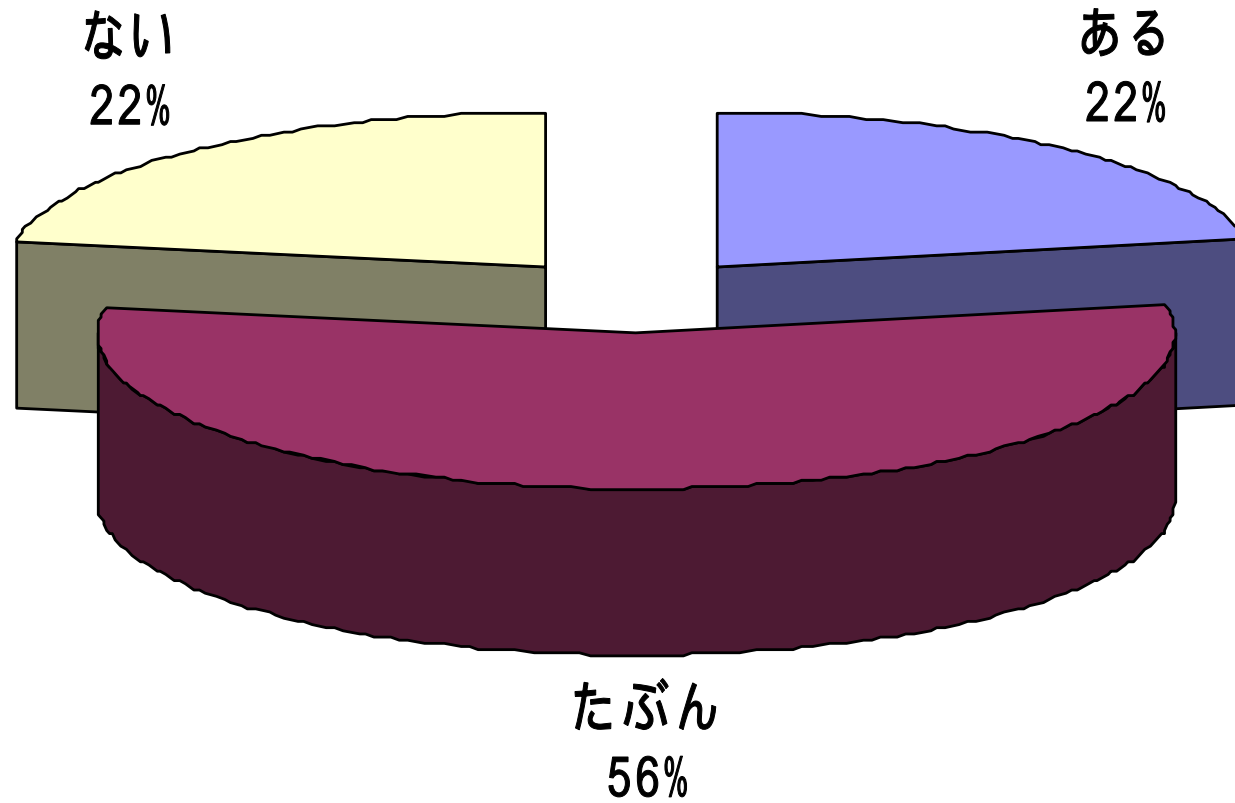


- 日本人の宗教意識・神観に関する  
世論調査

- Kokugakuin University
- 21<sup>st</sup> Century COE Program
- Survey of Japanese Awareness of Religion and  
Concept of God
  - 國學院大學21世紀COEプログラム
    - 責任者:石井研士(2004年)
    - 対象:2000人、20歳以上の男女
      - 個別面接聴取法
      - 2003年10/10-10/13
    - 1417名分 回収(回収率71%)
- <http://21coe.kokugakuin.ac.jp/modules/wfsection/article.php?articleid=96>  
(Retrieved on Sept. 15, 2007)

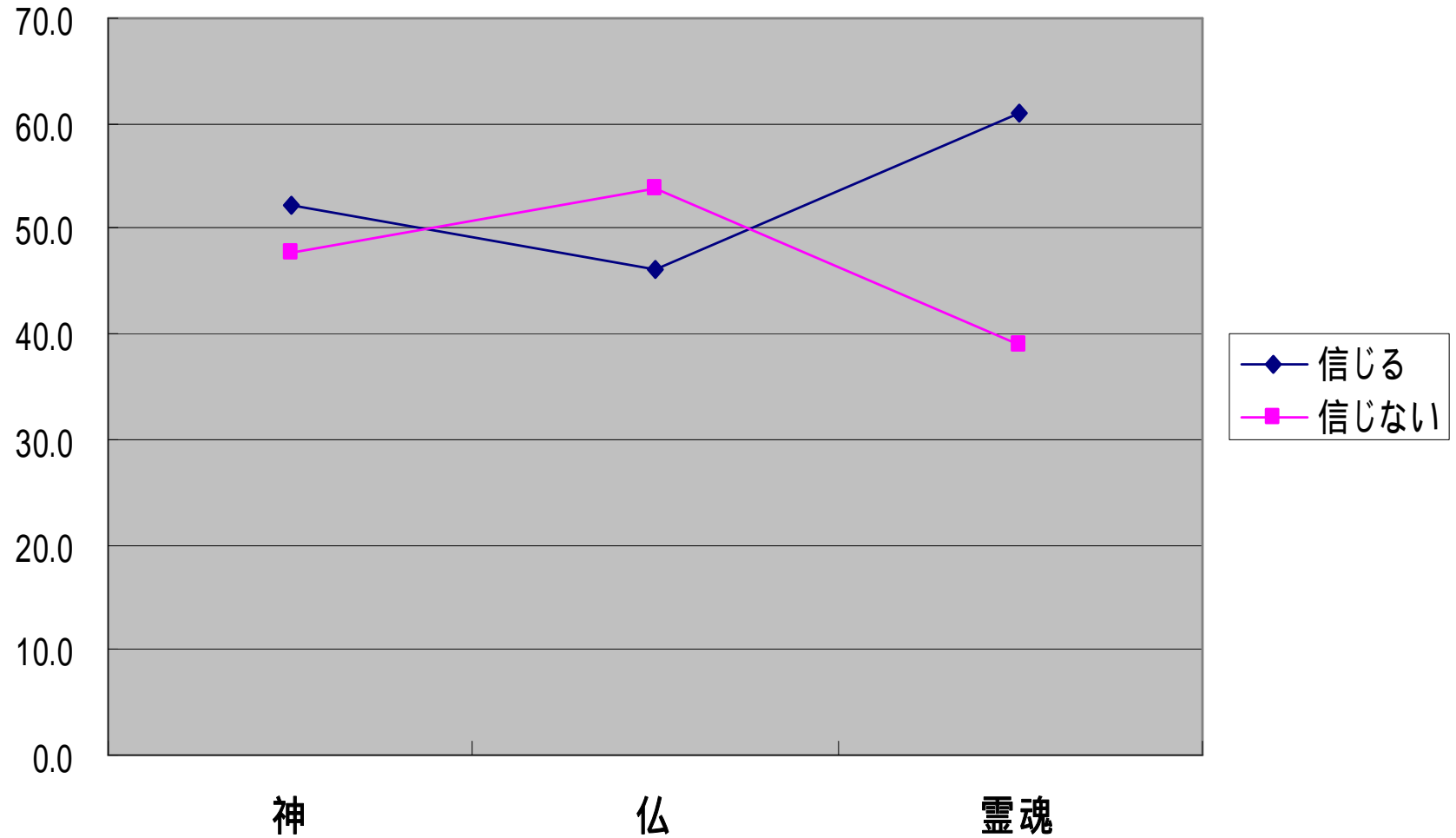
# 祟りはあると思いますか？

Do you think “cursing/scourge” exists?



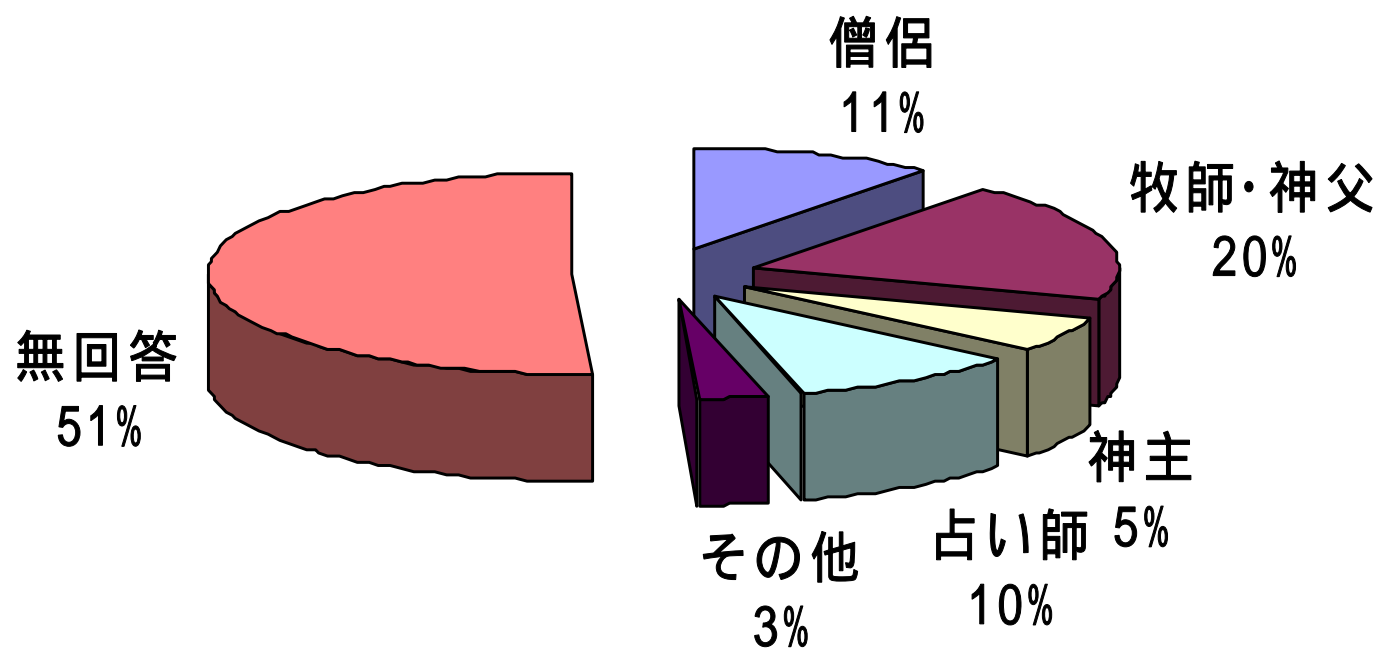
# 神・仏・靈魂を信じますか？

Do you believe in Kami (God)/Hotoke (Buddha)/Tamashii (Soul)?

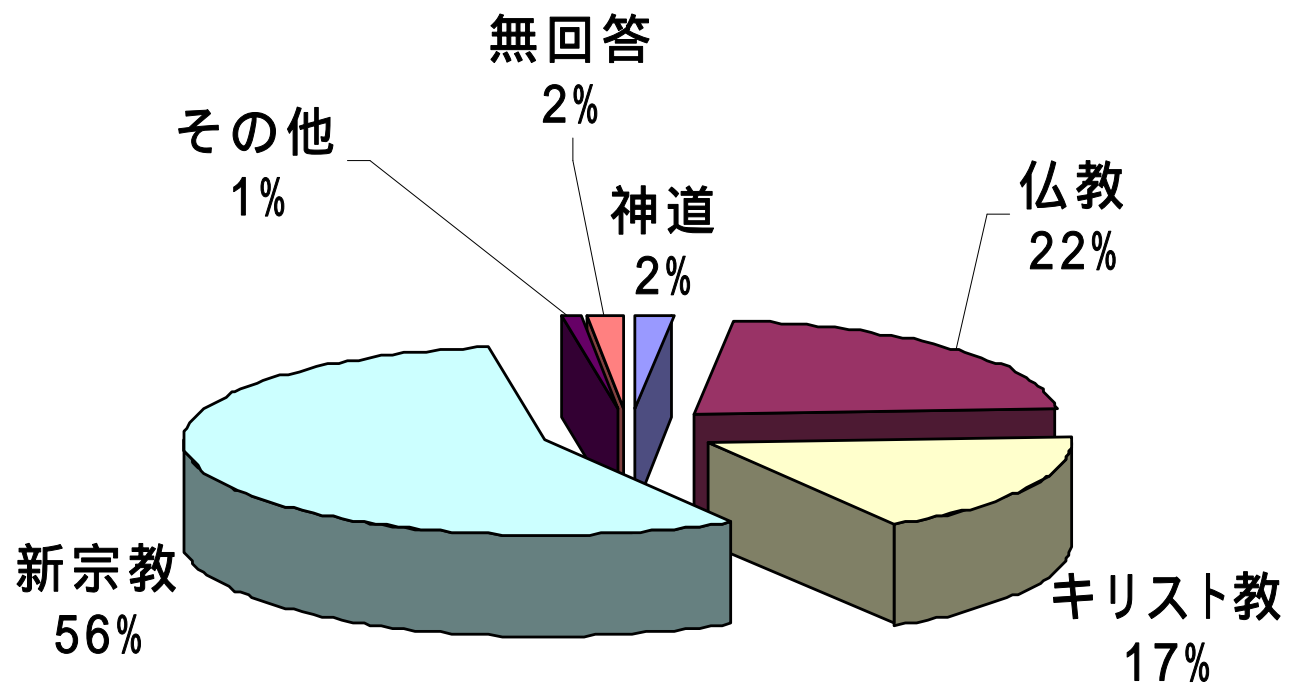


# 人生の相談相手で選ぶ宗教者

Which religious person would you go to when in trouble?

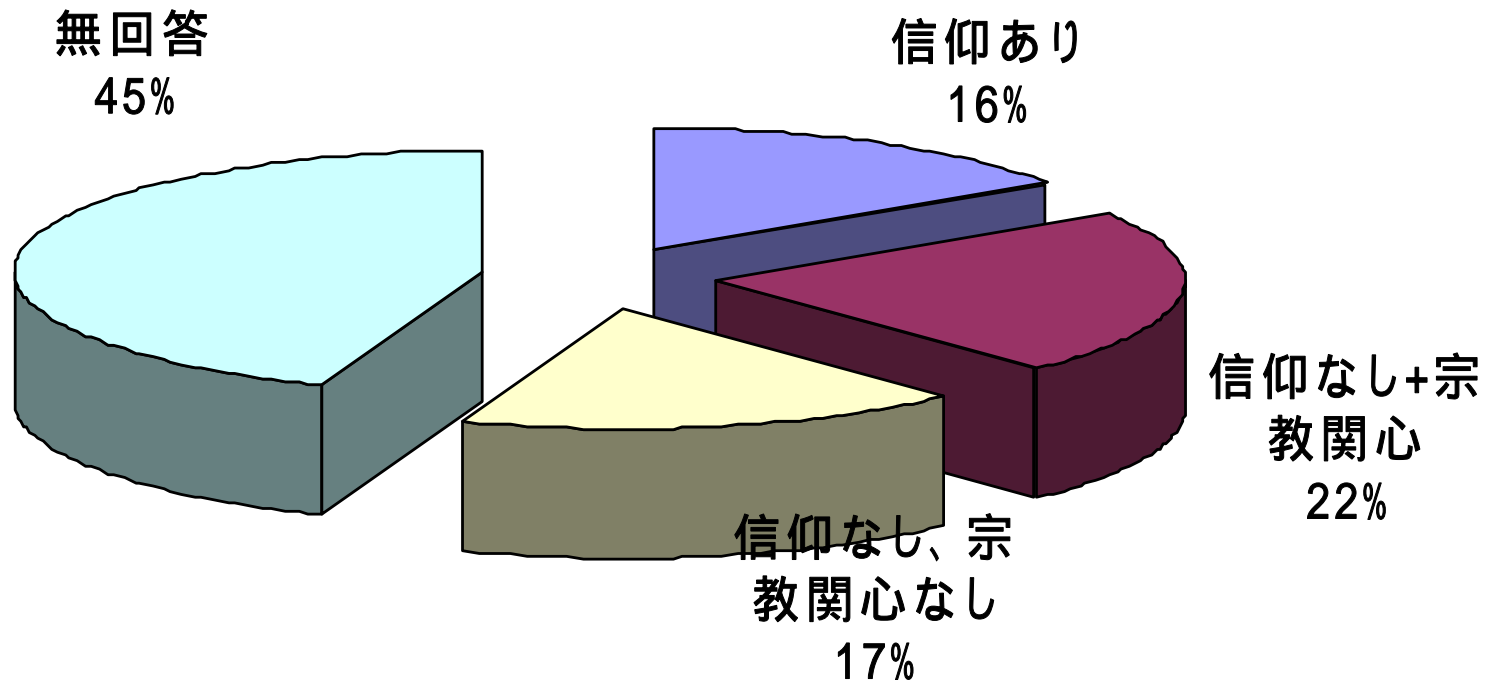


# 信仰している宗教



What religion do you believe in?

# 信仰について



Do you have your own "faith"?

# 現代学生の宗教意識

## Religious Awareness of Contemporary College Students

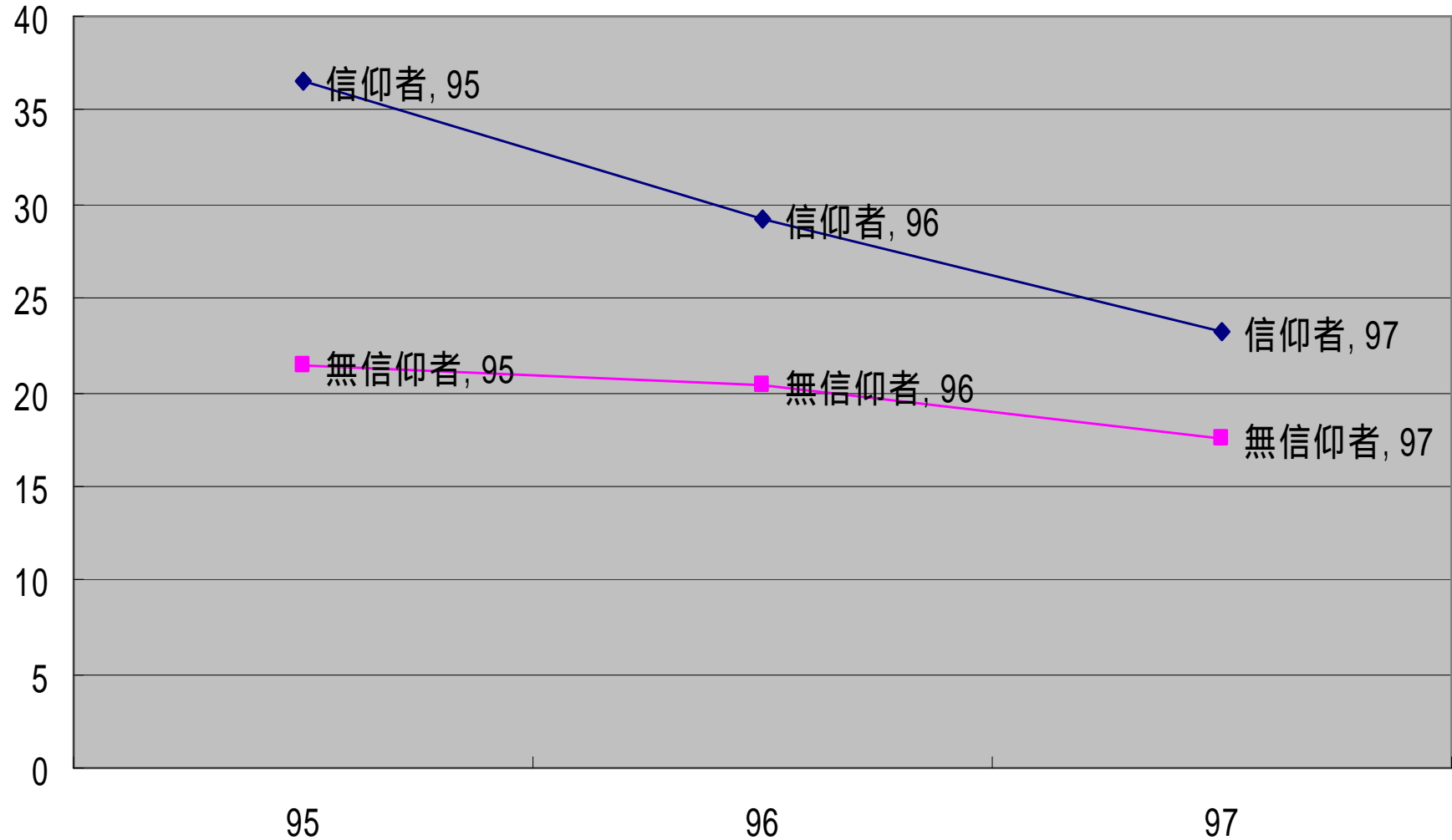
1995-1997年のアンケート調査分析

川又俊則(鈴鹿短期大学)

<http://toshi-k.net/list/308.htm> (retrieved on  
Sept. 20, 2007)

# 宣保愛子の靈視に関心はある？

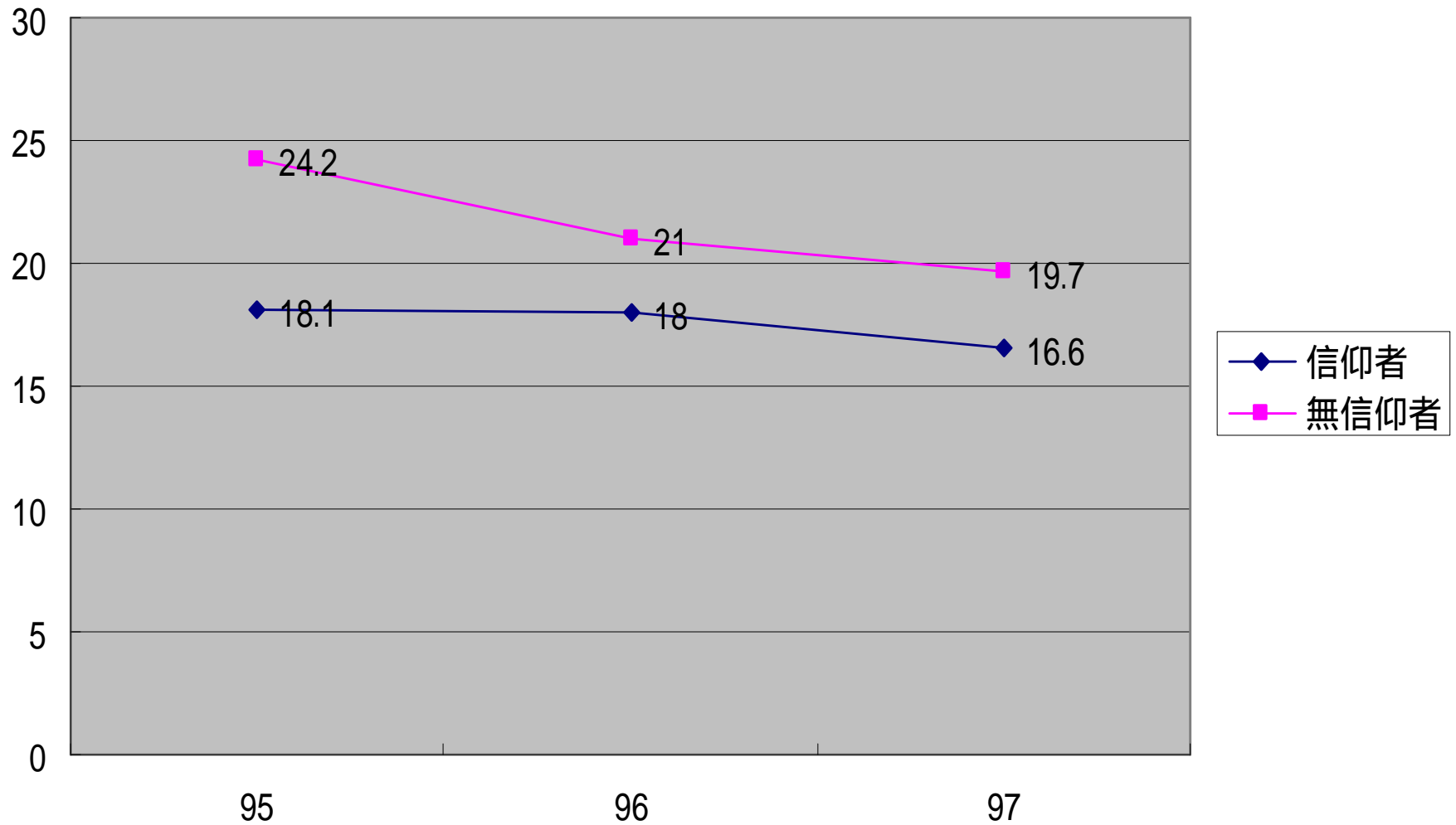
Are you interested in Senbo Aiko's psychic reading?





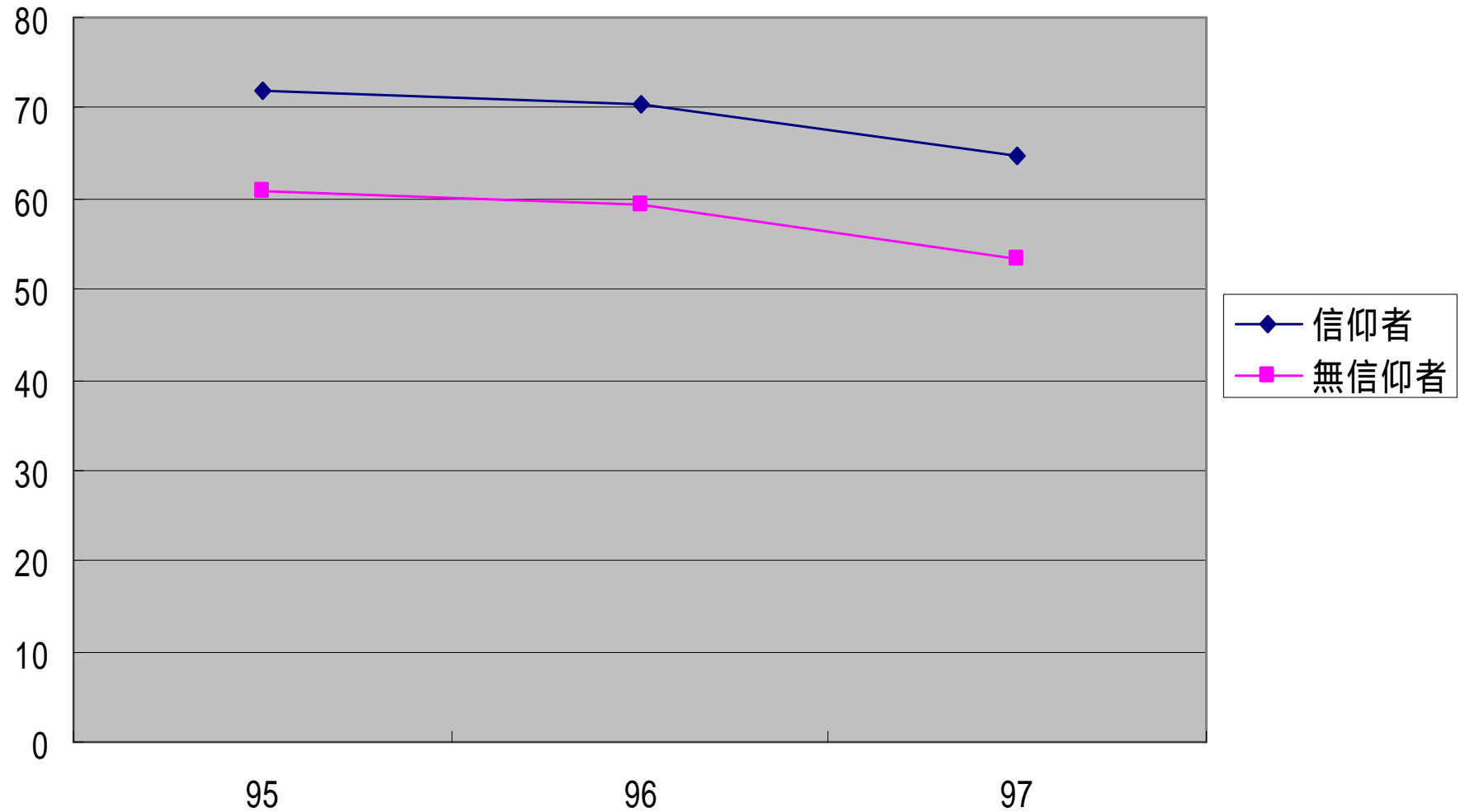
# ノストラダムスの終末予言に関心ある？

Are you interested in Nostradamus' prophecy of the end of the time?



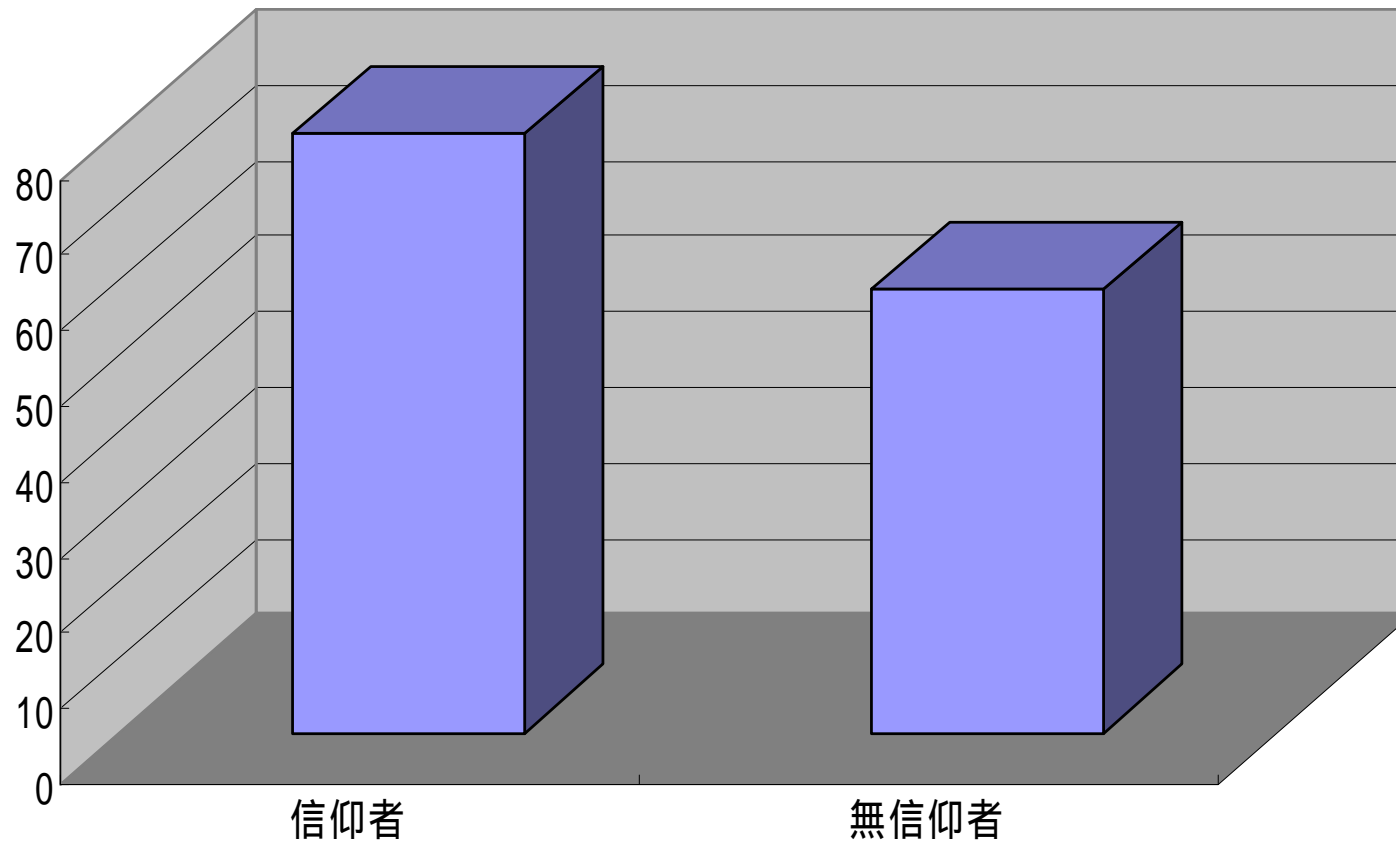
# 臨死体験に関心ある？

Are you interested in near-death experience?



# オウム真理教報道に関心がある?(1997年)

Are you interested in the media coverage of the Aum Shinri incident?



# Market View & Research Co. Ltd.

1999年『Generation 2001 / 次世代を担う若者の意識調査』

## Survey of Religious Attitudes of Undergraduate & Graduate Students

1. 調査対象者:平成11年度に4年制大学、及び大学院に在籍する学生
2. 調査の方法:インターネット上での公開アンケート方式  
「マーケティング・シアター」で公開型のアンケートを実施
3. アンケートの実施期間:1999年 4月15日～6月10日
4. 有効回答数:総数 2,001名

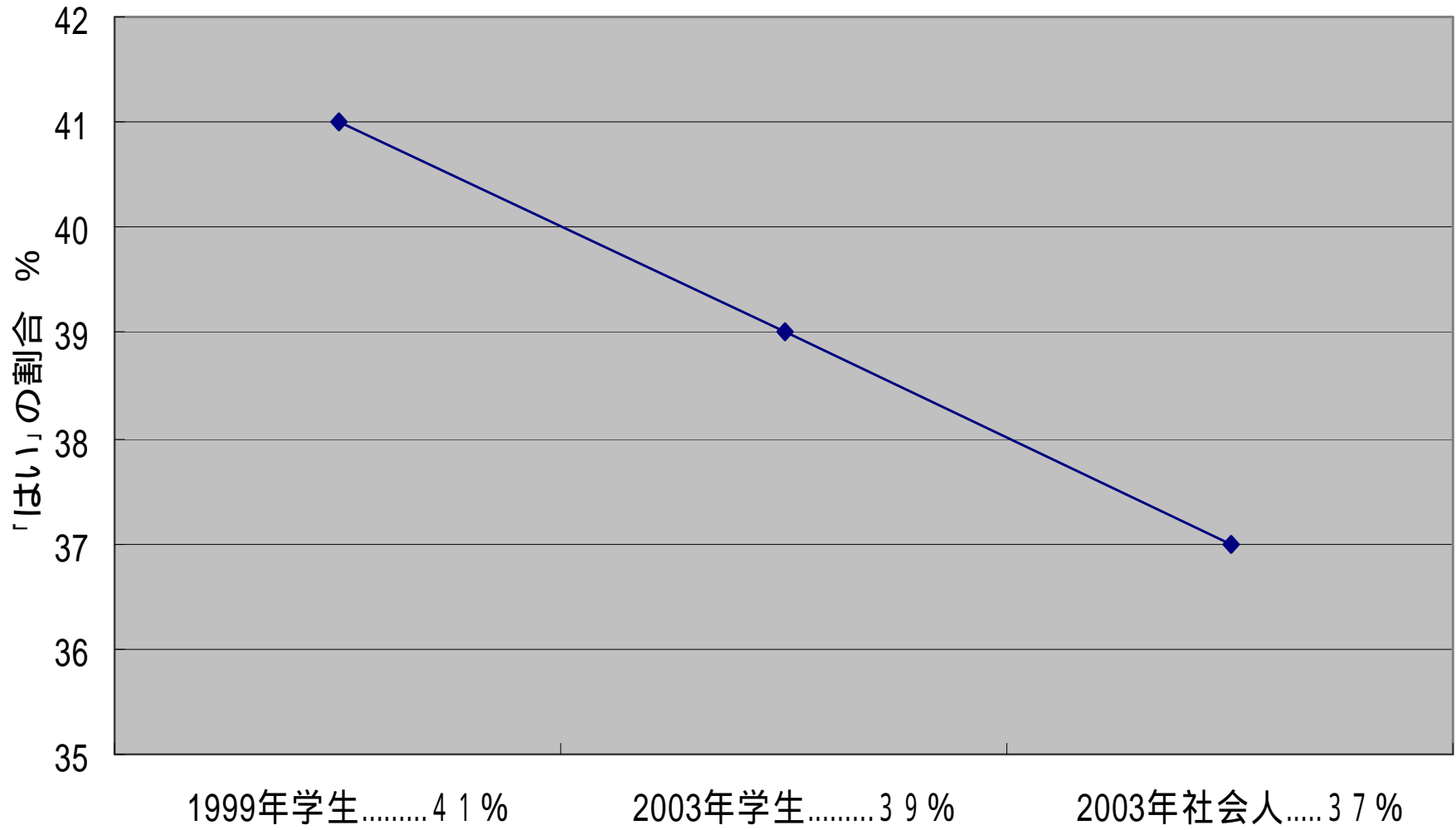
2003年『Generation 2001 / 次世代を担う若者の意識調査』

## Survey of Religious Attitudes of the Young Adults

1. 調査対象者:調査実施時において17才～28才の男女個人
2. 調査の方法:インターネット上での公開アンケート方式  
「マーケティング・シアター」で公開型のアンケートを実施
3. アンケートの実施期間:2003年 5月20日～5月30日
4. 有効回答数:総数 1,937名

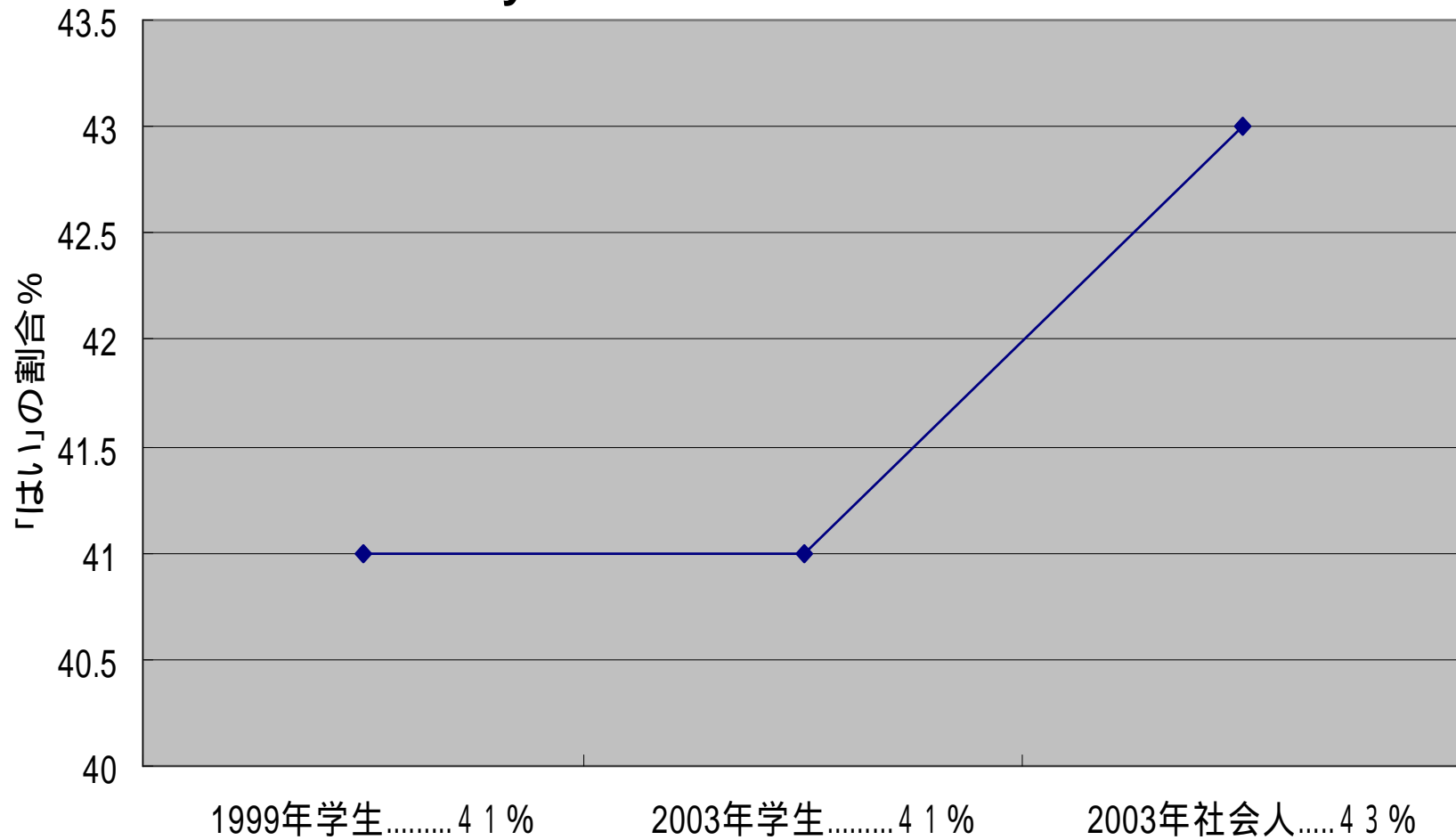
[http://www.mv-r.co.jp/gen\\_2001/g001.htm](http://www.mv-r.co.jp/gen_2001/g001.htm) (retrieved on Sept. 20, 2007)

# 神を信じますか？ Do you believe in God?



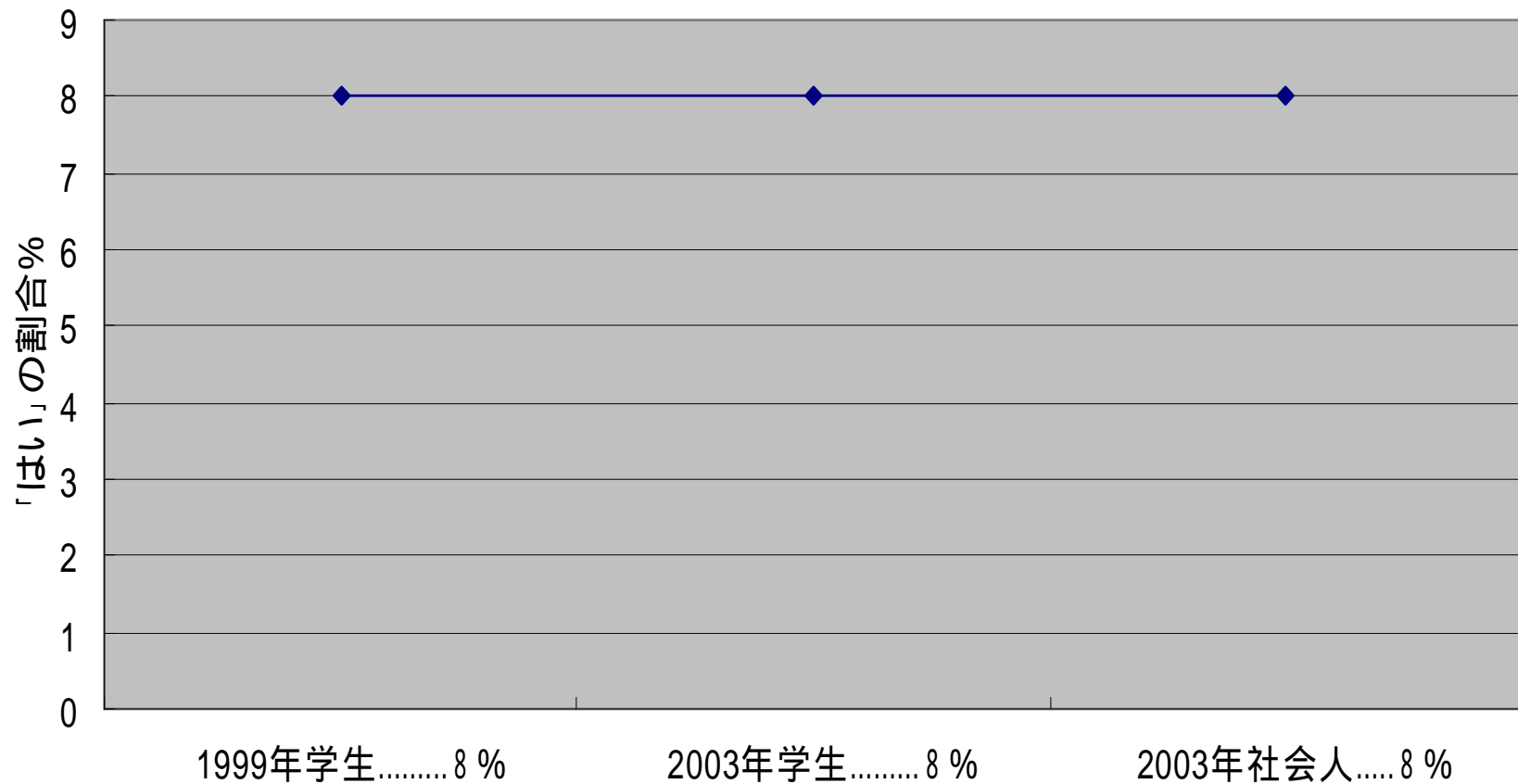
# 死後の世界を信じますか？

Do you believe in life after death?



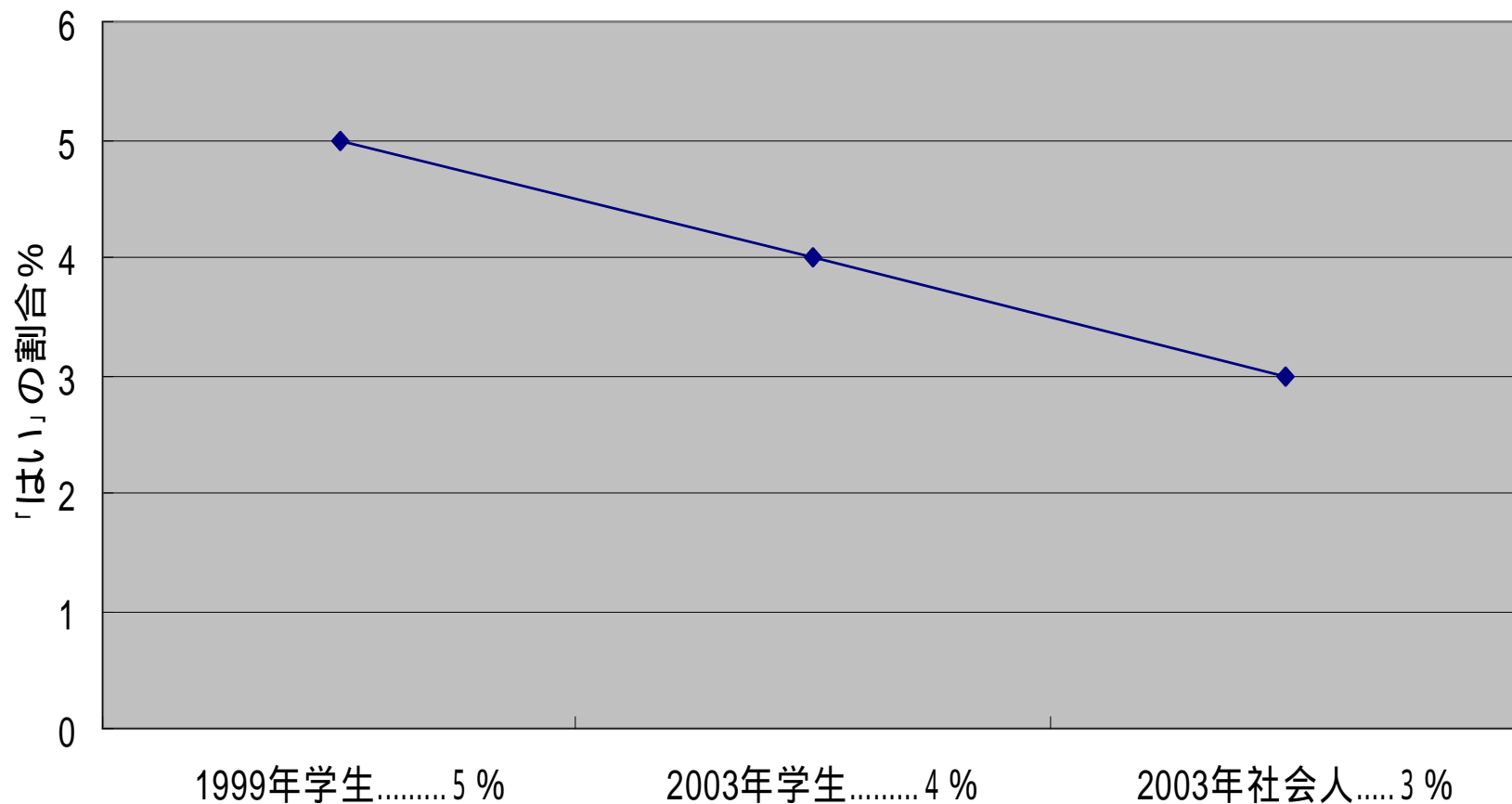
# これから先あなたにとって、宗教は大切な事柄になると思いますか？

Do you think religion will become an important thing to you in the future?



# あなたは宗教団体が主催する集会などに参加することがありますか？

Do you participate in assemblies hosted by religious organizations?





- 

# 分析 **Analysis**

# 宗教的態度 Religious Attitudes 1

- 宗教人口が総人口の2倍。
- 「宗教」の分類はあいまい。政府の分類基準？神道、仏教、キリスト教、新宗教に分けてある。
- 「信者」の定義も曖昧。団体により基準が違う。年度により数が大幅に変動。
- 文化的な要素としての宗教は受け入れる傾向に(神棚・仏壇=45-50%、神社参り・お墓参り=70-80%)。
- 迷信的でも、文化的な要素・風習には関心が強い(仏滅、友引、北枕、厄年、血液型と性格)。
- 神・仏・霊・魂の信仰度合いは若者の方が一般成人よりも低い(学生=30-40%、成人=50%前後)。

# 宗教的態度 Religious Attitudes 2

- 来世・天国・地獄への信仰は10-15%程度。
- 実践的なレベルでの信仰はさらに低い(=5%、座禅・ヨガ・聖典・布教)
- 信仰は持っていても宗教団体に加入する人は少ない(=10%)。集会に出る人はさらに少ない(=5%未満)。
- 予言や霊視(20-30%)よりも臨死体験(60-70%)のほうが関心が強い。ただし、関心度は減りつつある。
- 将来的に宗教をほとんど重要視していない(10%程度)。
- →精神性・道徳性への関心は？

- 

**宗教とは何か？**  
**What is “Religion”?**

# 宗教とは What is Religion? 1

- 磯前順一: Religionの語が最初に翻訳されたのは[日米修好通商条約](#) (1858年)
- 訳語: 「宗旨」や「宗法」
- 幕末から明治初頭: 「宗教」「宗門」「宗旨法教」「法教」「教門」「神道」「聖道」など
- 「宗旨」(しゅうし)、 「宗門」(しゅうもん): 宗教的な実践を含んだ語(よりも一般に広く用いられており、それは多くの日本人にとって宗教が実践と深く結びついたものであった)
- 「教法」「聖道»: 思想や教義の意味合いが強い語
- 「宗教»: 実践よりも教義の意味合いが強い語。
- 磯前の説: 最終的に定着することになった背景には日本の西洋化の過程で行われた外交折衝や、エリート層や知識人の価値観の西欧化などがある。

# 宗教とは What is Religion? 2

- 日本語の「宗教」: 幕末期にReligionの訳語が必要となって、今で言う「宗教」一般をさす語として採用され、**明治**初期に広まった。
- 英語 Religion: **ラテン語**のreligioから派生した。religioは、「再び」という意味の接頭辞reと「結びつける」という意味のligareの組み合わせ。「再び結びつける」という意味。神と人を再び結びつけること。

# 宗教とは What is Religion? 3

- 「宗教」の語：1869年にドイツ北部連邦との間に交わされた修好通商条約第4条に記されていた Religionsübungの訳語。
- 多くの日本人によって「宗教」という語が現在のよう  
に“宗教一般”の意味で用いられるようになったのは、1884年（明治17年）に出版された辞書『改定増補哲学字彙』（井上哲次郎）に掲載されてから。

# 宗教とは What is Religion? 4

- 宗教組織としての傾向
  - 信仰の対象および内容を規定した教義がある。
  - 教義や戒律にともに従う信仰のための信者団体である教団がある。
  - 信仰の証として守るべき禁止事項である戒律がある。
  - 暦の中で位置付けられた年中行事や人生の過程で行う通過儀礼などの儀式を行う。
  - その宗教の特徴となる象徴 シンボル を持つ。



# 宗教とは What is Religion? 4

- 物事についての考え方
  - 神かそれに類する、自分がよく知らず意のままにならない存在や力についての説明。これは人格神と呼ばれるような、実在の人物や人間によく似た存在である場合や、自然の働きそのものである場合、運命・運・福・天罰など独特の抽象概念の場合もある。こうした説明は、多くの場合「自然」が何であるかについての説明を含む。
  - 祈りや儀式・儀礼など、こうした存在や力に働きかけて、物事が自分の望むように進むようにするための手段についての説明。多くの宗教では、こうした存在や力に対する畏敬の念を説いている。人間よりも何らかの意味で優れている存在、場合によっては全知全能の存在として、許しや慈悲や恵みを請う、あるいは願う場合も少なくない。これは、科学において、自然や物理法則を利用して物事を自分の思うままに進展させる際に畏怖や祈りが必要とされない点と好対照をなす。

# 宗教とは What is Religion? 5

- 占い、神託など、こうした存在や力の動向を知るための手段についての説明。
- 病、死、天災、収穫、天候、などが何であり、どのように訪れるかについての説明。
- 集団や個人の生活の営み方、祝い事、祭り、儀式、祈り、禁忌、など。
- 命、死、死後の世界、などについての説明。
- 善行、悪行に対して与えられる報いについての説明。
- 時間の始まりと終わり、空や地上や海の起源や形状、星や太陽や月の実態、世界の起源や終末についての説明。
- 価値観と世界観(価値観とは人生や社会において何が大切であるか、何をしてはならないか、などを規定し、世界観とは、この世界はどのような成り立ちをしているかについて、のべた考え方を表すもの。)

# 宗教とは What is Religion? 6

## 信仰対象

- 自然物、過去の人物、先祖、人格神、因果などの象徴的存在などについての信仰

- 宗教体験

- 修行や儀礼などを通じた宗教体験・神秘体験

- 信仰内容には、通常、科学で検証の対象とならないような世界の秩序、人間の存在の意義などについての考え方が含まれている。なお、考え方や教義の中に含まれる思想的傾向を教団や信者団体が実践しているかどうかは、また別の問題である。

# 宗教とは What is Religion? 7

- 超自然的存在(神)への信仰
- 諸対象間の聖俗の区別
- 神聖な対象をめぐる儀礼的行為
- 神によって義認されていると信ぜられる道徳律の存在
- 特徴的な感情(畏怖、神秘感、罪の意識、崇敬など)が、神聖な対象に接し、また儀礼にともなって引き起こされる傾向を持ち、これらが神の観念と結びついていること。
- 祈りその他、神々と交通する形式の存在。
- 空の世界観および世界における個人の位置に関する自覚があり、なんらかの世界目的およびそれに対する個人の参与の仕方が示されていること。
- 世界観に基づく諸個人の生活の組織化、および集団の形成。

**日本人は本当に宗教が嫌いなのか？**

**Do Japanese really abhor “religion”?**

# 日本人の宗教嫌い 1 - 1

- 日本ではとにかく宗教の人氣がない。宗教は「はまる」「ひっかかる」と形容され、悪徳商法なんかと同一視される。宗教を「やっている」と言うだけで白い目で見られる。
- 日本人の宗教嫌いの理由ははっきりしている。ここで言う「宗教」は「カルト宗教」とイコールだからだ。カルト宗教を擁護する気はまったくない。ただ、カルト宗教ではない宗教もいくつもあるのに、と思うわけである。

# 日本人の宗教嫌い 1 - 2

- またいつものように結論から先に述べる。「無宗教」「宗教嫌い」と称する日本人のほとんどは、宗教の教えは自分にはとうてい受け入れられないバカげたものだと思っている。それは間違いだ。まともな宗教は変なことはいっていない。きちんと学べば、いい事を言っていると思うはずだ。
- また、文化やものの考え方というのは宗教の影響を強く受けている。日本の場合には仏教や神道や儒教やその他もろもろのものである。日本人のものの考え方の多くはこれらの宗教に由来するものであり、宗教嫌いの人の中にも既に深く根付いている。その人がそれを宗教だと知らないだけの話である。

# 日本人の宗教嫌い 2

- 宗教嫌いな人を見つけたら、こう言ってみよう。この世の中に「唯一絶対なる存在(神)」が存在するだって？そんなものあるわけない。「人生かくあるべし」とか「精神のレベルを上げる」とか、下らねえ。腹が減ったら食べる。眠かったら寝る。それでいいじゃん。
- この世に正義とか悪とか、そんなものねえんだよ。秘法とか修行と称してなんだかわけのわからん事をして何になるというんだ？あいつらバカだね。神秘体験なんてヤクでラリってるのと同じだ。
- もし上の考え方に対して、「うんうん、その通りだ」と言う人がいたら、その人は無宗教ではない。立派な仏教徒である。彼らは自分を無宗教だと思っているが、それは「宗教に入る」というアクションをしていないからそう思っているだけで、実際にはじわじわと仏教に染まっていたのだ。特に「唯一絶対のものはない」が仏教の根本理念である。あとのことはそこから導き出されるものだ。だから、これを信じていれば仏教徒だと言っていいだろう。



# 日本人の宗教嫌い 3

- あるいはこんな話はどうだろう。
- 宗教バカは規則とか戒律を絶対視して、どんなことがあっても守ろうとするからダメなんだ。世の中に合わせて柔軟にやらなくてはいけないのに。
- 宗教ってテロとか起こすし、違う宗教同士で戦争ばかり起こすし、ロクなものじゃない。宗教が政治にまで深く入り込んでいるからいかなのだよな。
- 宗教をやっている奴らは自分たちが絶対に正しいと信じ込んでいて、俺たちが何を言っても「サタンの言うことには聞く耳を持たない。地獄に落ちろ」と言う。地獄に落ちるのはそっちの方だ。
- 休みになるとどこかの老人ホームや福祉施設なんかに行き、ボランティアをして、「いいことをした」と優越感に浸っている。そこまでは勝手にすればいいけど、それを俺たちに自慢するな！ はっきり言って偽善者だね。
- このような発言をしたのは他にもない、イエスである。
- <http://iwatam-server.dyndns.org/column/47/>

# 日本人の宗教嫌い 4

- 毛嫌いしてるのはカルトだけ  
伝統ある宗教は別に毛嫌いしてないだろ。  
むしろ無節操に取り入れたりしてる。  
嫌いなのは怪しげな新興宗教。  
宗教 = カルトのイメージがあるから  
(名称省略)  
車爆破とかするXXXXとかは嫌いです >  
<  
やっぱりXXXとかのカルト的イメージがあるからじゃないかね  
新興宗教のビジネス傾向は異常  
なんの技術や元手が無くても、宗教やれば簡単に金や人材が手に入る  
発展途上国の朝鮮半島が簡単に日本でサクセスできるビジネスの一つ  
宗教 = 悪だと幼い頃にテレビから学ぶから  
構造的に画一的にしか語れない既存メディアは糞  
宗教を嫌ってるワケじゃない。  
カルトの本場のXXXが嫌いなだけだ。  
<http://blog.livedoor.jp/news2chplus/archives/50584694.html>

# 日本人の宗教嫌い 5

- 福井のおばあちゃんちから帰ってきておばあちゃんから一冊の小冊子をもらいました。おばあちゃんは真宗？の熱心な信仰者です。...おばあちゃんの家には大きな仏壇があります。おじいちゃんが死ぬずっと前からあって普通だと、家に仏壇があると誰かお亡くなりになったの？という事になりますが...毎日、念仏を唱える為にあるのです。おばあちゃんの考えは家には絶対仏壇がないと[いけない]！...私自身は、無宗教ということになると思いますが、多分死んだら仏教のお葬式になると思いますが。クリスチャンではないので、美術的にお寺や仏画にひかれますが、どこのなになに派でないと、ということはよくわかりません。ただ、おばあちゃんはおばあちゃんの信じる仏様の世界の中に生きていてとても生き生きと元気はつらつであるということは自他ともに認める事実でありおばあちゃん健康にいいというか、精神的にすごく生き生きしています。無宗教で、鬱で何の望みもない若者よりも人生をすごく楽しんでいるようです。

# 日本人の宗教嫌い 6

おばあちゃんが書いてくれた言葉に 今ののちがあなたを生きている ということばがありました。私の命は私の物ではなくて仏様のいのちが私の中を生きただけで最後には仏に戻るということらしいです。

人間に産まれたという事は仏様からシャバにでて仏法を聞いてこいと願われてこの世に出されたので、仏法を聞かなあかん！といわれました。

実際の所、私はそんなに熱心にはなれませんが、おばあちゃんから絵と一句が書いてあるカレンダーをもらったので家にかけてきました。絵もかわいいし、(『厳しさよりも優しさの中で強さは育つ』という格言が書かれてるカレンダー)と思ってかけといたら外されていました。

犯人は夫です。夫は大の宗教嫌い。こんなのかけたら帰ってこないからな！と言われました。

あいだみつをみたいなカレンダーだけで過敏に反応しています。しょうがないので私の部屋にかけてきました。おばあちゃんは信仰熱心で、愛する夫は自分しか信じない宗教嫌い。

# 日本人の宗教嫌い 7 - 1

- 生活している中で、日本人で、宗教が嫌いなんだろうか。って思っています。  
私自身の体験としては、  
・高校の帰りの電車の中にて。私立の仏教系の女子校に入学。朝、四つの目標(?)みたいなものを唱えます。それを覚えたのが嬉しくて、県立に進学した友人に暗唱しました。友人は「大変だねえ」くらいの反応でしたが、他の席に座っていた女子高校生に「うわっ！ 怪しい宗教や！ 気持ち悪い！」と言われました。  
・高校生の頃「自分の家の宗教がいますか？」と聞かれ「浄土真宗大谷派です」と答えたことを、校外の友人に話したら「え～？ 普通家の宗教なんて知らない！」と言われました。私としては、死んだ時に意味も分からない念仏を唱えられるのは御免です。

# 日本人の宗教嫌い 7 - 2

- 確かに、財産を吸い取られる様な新興宗教は嫌です。でも、仏教って神道と同じ位日本人に馴染みのある宗教ですよね？

なのに「キリスト教なんです」と言っている人には「すごいね！カッコイイ！」と言う人も多くいます。他の宗教のことも分かっていて、キリスト教に関心があるのなら分かるのですが、そうも思えません。

日本人は、宗教が嫌いなのでしょうか？宗教だけではなく、サンタクロースや、八百万の神を信じているだけで白い目で見られてしまう傾向があるように思います。

# 日本人の宗教嫌い 8-1

- 死んだあと救われるとか救われな  
いとか  
誰も実際に報告できないから言う  
のは楽だよな宗教は麻薬みたいな  
もんじゃん勧誘といえば、不幸な死  
に方とかするとホントに来るよね。  
で、「心がけが～」とか言い出して  
「今からでも遅くは～」って誘い出  
す。ウチの爺様がそれ言われてブ  
チ切れて大変だった。XXX教がま  
ともとか本気で言ってるの？

## XXX並の邪教

世間体という最強の教義があるか  
ら信じないと助けてくれない神様っ  
て、どんだけ了見狭いんだよ。日本  
人には仏教があるだろ神頼みの気  
持ちはあるよな。でも層化とかXXX  
とか新興宗教って、なんだか御利  
益なさそうじゃん。そういうのに入る  
のはどういう心境なの？

# 日本人の宗教嫌い 8-2

- 俺は無神論者だが墓参りはする

仏教は本来宗教ではない  
仏教にかこつけて商売してるバカがいるだけ

どうして、仏教がもっと根付かなかったんだろうな。  
そりゃ日本人の思想の根本は  
仏教的なのかもしれんけどさ、  
アジアの他国に比べればずいぶん違うような。

神道が最強だよ

俺の親父は、死んだら灰にして  
海に投げ捨てるって言ってたん  
だけど  
これはなに？神道？



# 日本人の宗教嫌い 8-3

無神論という宗教  
無神論なのか？ユダヤ教、仏教、  
キリスト教、イスラム教、神道を色々  
勉強した結果がこれなんだってさ親  
鸞は「俺が死んだら遺体は賀茂川に  
捨てて魚に食べさせてやってくれ」っ  
て言ったそうなの。

浄土真宗か  
そういえば母方が浄土真宗だわ  
逆にこんだけいろんな宗教、神話に  
興味深々な国は日本だけかもね。  
世界宗教で他の人もオレの祈りで  
救ってやるぜ！って男気あるやつは  
仏教の1宗派だけ。後はみんな選民  
思想。宗教は嫌いじゃない。でも信  
じようにも神様は理不尽で不平等で  
えこひいきだからな

# 日本人の宗教嫌い 8-4

宗教は戦争の種って知ってるから嫌いなん  
だろ。神様が人呼んで金集めて権力ができ  
て他の神様いたら不都合だから戦争  
勝ったら神様のおかげ信者も金もどっさり  
負けたら向こうの神様は悪魔だこちらが負け  
るはずがないってテロだろ

キルケゴールの実存への三段階  
第一は美的段階。欲望のおもむくままに、  
次々に快樂を求める。  
だが、人間の欲望に限りがない以上、どこま  
で求めても満足できないことに絶望する。  
第二の倫理的段階。  
このままではダメだと善行を心がけ自己実現  
をすることで普遍的な自己を確立しようとする。  
だが、真面目になるほど良心が研ぎ澄まされ  
るため、小さなことにも罪悪感に悩まされるよ  
うになり絶望する。

キルケゴールは、この絶望の淵から人が救  
われるには、  
真の宗教による救済以外にない、と第三の  
宗教的段階への道が開けるのである。

別に嫌ってるわけじゃねえだろ…。  
新興宗教嫌いが多いうてだけで。  
伝統宗教にまでケチつけるヤツはそんなに  
居まい。

# 日本人の宗教嫌い 9

- 宗教嫌い多いよね、日本
- まず、科学について、宗教について、ちゃんと知っている人は、両者を比べるだなんて愚かな真似はしない。
- ただ、科学も宗教もそれを取り扱う人間の力量によって、他の人間を幸福にも不幸にもする。
- 宗教が人間を不幸にするのではなく、間違った宗教の扱い方が人間を不幸にする。

# 日本人の宗教嫌い 10

- 日本人の多くが宗教を知らないのは、日本では誰も宗教を教えてくれないからだ。  
[...]日本ではまともな宗教よりカルト宗教に当たる確率の方がずっと多いのだから、どれがカルト宗教でどれがまともな宗教だけ区別できるようになるまでは、宗教はできる限り避けた方がよい。

# 日本人の宗教嫌い 11

- 日本は宗教嫌いな国といわれているが、国民の何分の一かは、XXXの会員だといわれていることを考えれば、この宗教嫌いは自分の宗教以外の宗教は嫌い、というだけで、本当は宗教が大好きなのかもしれない。

あるいは、XXXはすでに宗教ではなく政治結社になったのか。

...

# 日本人の宗教嫌い 12

- 私は、決して宗教がいけないと  
いっているわけではない。特定の  
宗教を政治と結びつけること、さ  
らに政治を特定の宗教が動かそ  
うとしていること、このことが許せ  
ないし、させてはいけないと言っ  
ているのだ。

XXXの方々、世界平和は決して  
XXXだけの力では達成できませ  
ん。すべての宗教、すべての人  
民の力があってこそ、世界平和  
は成立します。どうか良く考えて  
ください。

# 日本人の宗教嫌い 13

- 前回、反宗教論みたいな事を書きましたが、正直、世に言う「宗教」というものには歴史的興味くらいしかありません。と言うより、「宗教」というのは嫌いです。「信心」と言うものが自身の心の内にあるという事は、神(またはそれに類するもの)もまた、自身の心の内にあるという事です。他人に与えてもらうものではないし、ましてや、そんな事はもってのほか。信じてないから、なんて理由だけやれ天罰だ呪いだなどと、そんな神サマの何を信じるというのだろう。ただ、自身の心の内にある神が現存する宗教の神にうまく重なる人は、別にそれでいいと思うし、否定はしないけど。自身の信じるものを感覚的に確認できると言うこと、それはきっと幸せなことなのだと思う。

# 日本人の宗教嫌い 14

- 今このニュースに驚いています。イラク国軍、米軍(ほぼ米軍)ファルージャ総攻撃が行われていますが、なぜラマダンのそれも最も重要な時期を狙って攻撃を開始したのでしょうか。アメリカ大統領選を終えたばかりとはいえ、まったく無神経ということは考えられず、意識してイスラム社会を挑発しているのでしょうか。 (それともホントにアホなのか?) どのような勢力がなんのために。。あえて反感を高めるであろう時期に起こすことでなんのメリットがあるのでしょうか? 識者の方、お教えてください。



# 日本人の宗教嫌い 15-1

- 宗教好きの宗教嫌い
- 日本で「無神論者」といえば特定の宗教を信じていない人の事になるだろうか。私もこれに入ると思う。仏教の考え方は「好き」だ。
- キリストの生き方は(というかあの死によって意味付けられた生は)凄いと思う。
- でもどちらにも入信しようとは思わない。
- 特に「キリスト教」には、考えてしまう事例がある。
- かって二人の「キリスト派」と対したときの事である。
- 一人は、私が彼女の考えに同意しないと分かると、私の事を「人でなし」と言った。彼女は正式に入信したキリスト教信者ではなかったが、日頃から「天使」や「悪魔」という言葉を使っていたからかなり傾倒していたとは思う。

# 日本人の宗教嫌い 15-2

- もうひとり、私と取っ組み合いの喧嘩をした人である。私が仕掛けたのではない、相手が(酒に酔っていたのであるが)掴みかかってきたのである。大騒ぎになり、夜教会に行っていたらしいその人は(懺悔でもしていたのだろうか?)翌朝涼しい顔で「悪かったな」と言った。前日私を「悪魔」と言った事を忘れてしまったかの様に。
- 弱いから信じるものが欲しいというのは理解出来なくもない。だがそれを自分のみに当てはめる事がその人の常識になっている事が悲しい。
- その人の信じている対象までが悲しい。
- 自分は何も出来なかった。
- 彼女達の信じていたものは何かしてあげただろうか…。
- 「神」を信じた瞬間にもう救われている、と聞いた事がある。
- では二人はどうして他人を罵り卑下したのであろうか？
- ……信じるという行為は容易くないと考えている。
- 自分には人前でおおっぴらに言える様な事が無い。

**日本人の宗教嫌い  
まとめ**

**Japanese Aversion to  
Religion  
Summary**

# 日本人の宗教嫌い:まとめ 1

- 宗教 = 悪徳商法、ビジネス、金儲け
- 宗教 = はめる、ひっかける
- 宗教 = カルト
- 宗教 = テロ、戦争の種
- 宗教 = 自分勝手、独りよがり、偽善的
- この世に絶対的なものはない(法・おきて・「神」)
- メディアが「宗教=悪」と伝える。

# 日本人の宗教嫌い:まとめ 2

- 新興宗教 = 怪しい(伝統宗教はOK)
- 「証明不可能」なことを説くのは簡単
- 不幸な出来事を手段に「勧誘」する
- 「世間体」=最強の教義
- 仏教は宗教でなく、ビジネス
- 神道こそ最強の宗教
- 「神」は理不尽で、不公平(選民思想、戦争)

# 日本人の宗教嫌い:まとめ 3

- 無神論は多くの宗教を比較した結果(宗教、特に新興宗教が多すぎる?)
- 他の宗教のために祈っているのは仏教だけ(他はすべて選民思想的)
- 「神」が人を呼び、金を集め、戦争を興す。勝ったほうが「真の神」で負けたほうは「悪魔」だ。

# 日本人の宗教嫌い:まとめ 4

- 人間の不幸にするのは宗教ではなく、間違った宗教の扱い方。科学も同様。
- 誰も宗教について教えてくれない。
- 自然な状態ではまともな宗教よりカルトに遭遇する確率のほうが高い。だから見分けができるまでは避けたほうが安全。

# 日本人の宗教嫌い:まとめ 5

- 人口の大部分が一部の宗教の会員だから、実は宗教嫌いは単に他の宗教団体を嫌っているだけかも(自分の宗教は好き)。
- (ある宗教)はすでに宗教ではなく、政治団体かも。
- 他の宗教や世界のいろんな諸民族がいて世界平和は達成可能(自分の宗教のみが救えるという考えはおかしい)。



# 日本人の宗教嫌い:まとめ 6

- 信仰は内なるもの、だから神も内に存在する。だから人に「与えてもらわなくとも良い」。(つまり罰とか呪いと言った言い方で信仰を強要されるのは御免。
- 宗教を否定するつもりは無い。しかし、自分の信じれるものを感覚でとらえられるのは幸福なこと。(信仰は自分で感じるもの、強要できない)。

# 日本人の宗教嫌い:まとめ 7

- 仏教の教えは好き、キリスト教もすごいと思う。でも信仰しているから救われていると思いつながら、人を攻撃したりするその攻撃性には閉口する。

# 日本人の宗教嫌い:まとめ 8

- 「陰鬱で無感動な若者よりも、こじんまりと自分の信仰を大切にしているおばあちゃんの方がずっと生き生きとして生きている」

**バハイの宗教観**

**Baha'i View of Religion**

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 1

- 宗教には数種類ある：  
神の啓示宗教、そこから分派した宗教、それをさらに改革して興した宗教、自分の考えでいろいろな要素を盛り込んで使った宗教、商売のために始める宗教

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 2

- 宗教には四季と同様周期があり(春夏秋冬)、定期的に更新される。
- 釈尊も入滅後の時代を3つに分けて予言した：  
正法時代、像法時代、  
末法時代

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 4

- 宗教は、時と場所の条件に応じて物質的・社会的教えが異なる(ただし、精神的部分は、基本的に変わらない)。

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 5

- 宗教は、人類の発達段階に応じて、教えが進化してゆく。
- 宗教を説く神の顕示者(預言者)らは、目的において同一である。



# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 6

- 宗教的真理は、絶対的ではなく、相対的である。
- 宗教は、科学と調和する：宗教と科学はひとつの真理の補足的局面である。

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 7

- 苦行は必要ではない。
- 宗教には顕教的な局面と秘教的な局面とがある。
- 神は「単なる法典」を啓示するのではない。
- すべての宗教を子供クラスで教える。子供には15歳で自分の宗教(無宗教)を選ばさせる。

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 8

- 宗教的教育は必要であるが、頑迷と狂信から子供を守らなくてはならない。
- 神の法を実践するにあたり、人は自墮落・独善的になってはならない。

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 9

- 人間には外なる目と内なる目があり、内なる真理を知るには清い心と、神聖な魂と、自由な精神が必要である。  
(「探求者の書簡」参照、「確信の書」)

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 10

- 神の教えが歪められたのは人間的解釈・教義のため。
- 過去の時代は人民のほとんどが文字の読み書きをできず。
- しかしこの時代、人間は「自分の目で見、自分も耳で聞き、自分の頭で考え、真理を見極めるよう、期待されている。

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 10

- バハイは派閥政治に干渉せず。
- バハイ行政機構は将来の世界秩序の「雛形」。しかし社会がバハイを受け入れることによつてのみ可能となる。
- バハイは信仰を強要しない、できない。
- 政府に従順であるが、精神的原則のみ妥協できない。

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 11

- 神の本質は不可知：真の不可知論
- 神の顕示者を通してのみ、神の意思を知ることができる。
- 神について想像することは、それ自体で神を制限すること。

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 12

- バハイは異宗教間の調和を促進する。



# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 12

- 「バハイたることは、単に全世界を愛し、それに仕え、万国平和と同胞愛のために活動することである。」(アブドル・バハ、「バハオラと新時代」、八十二頁)

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 13

- バハオラの名を聞いた  
ことのない人でもバハ  
イたり得る

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 14

- 「およそ、バハオラの教えに従って生活する人は、すでにバハイである。これに反して、たとえ自ら五十年間バハイであったと言っても、その生活がバハイらしくなければ、その人はバハイではない。(アブドル・バハ:「バハオラと新時代」、八三頁)

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 15

- 「今日、全人類への奉仕に身を捧げる者は、まことに、人間としてふさわしい者である。『偉大なる御方』はおっしゃる——地上の民族や親族の最高の利益を促進するために立ち上がる者は祝福され、幸いである。また、別の節で、彼はこう宣言なさった——人は、自国を愛することを誇りとするよりも、むしろ、全世界を愛することを誇りとすべきである。地球は一つの国に他ならず、人類はその市民なのである。」(*Tablets of Baha'u'llah*, p. 167)

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 16

- 苦行は不要である。心の成長は、神の慈悲を蒙りながら、人徳を身につけることや道徳を高めることに依存するものである。昔の聖者の荒行は迷信であった... 神様が私達に良きものをくださったのは、私達がそれらを拒むためではないのである。しもべが神に感謝を覚えるためにこれらの恵みを創造されたのである。  
(「大樹の泉」、九一頁)

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 17

- この時代において苦行はあくまで精神的なものに限るのです。なぜなら、肉体的苦行と違って、精神的苦行は理にかなっており、また良い結果をもたらすからです... 精神的苦行は自分の能力を大きく発展させ、してはならないことを自ら避ける決心ができるようになり、またなすべきことを実行するよう、自らを励ますようになるのです... 心豊かな人は皆修行者です。この修行というのは、人にこの教えを広めたり、人類に「王国」にふさわしい道徳や性格を広めることなのです。〔「大樹の泉」、九一～九二頁〕

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 18

- 宗教は全ての心を結び、戦争や論争を地球上から消滅させ、精神性を向上させ、各々の心に生と光をもたらすべきである。もし宗教が、嫌悪や憎悪や分裂のもととなったら、それはない方がましで、又、その様な宗教から脱退することは真に宗教的な行為である。なぜなら、治療の目的は治療をすることだというのは明らかである。しかし、もし治療が病を悪化するだけであつたら、そのままにしておいた方がましである。愛と和合のもとにならない宗教は宗教ではない。全ての聖なる顕示者らは、魂のための医者のようなものであつた。彼らは、人類の治癒のために処方を与えた。したがって、病を引き起こすような治療法は、偉大で最高なる『医者』(神の顕示者)から来るものではないのである。(Paris Talks, p.130)

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 19

- 宗教的な狂信や憎しみは、世界を焼き尽くす火であり、その火の激しさは誰も抑えることができない。神の力の『御手』のみが、この荒廃的な苦しみから人類を救うことができるのである...



# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 20

- おお...人々よ、友好と親善の精神にて、すべての人々と交われ。もし汝ら、ある真理について知っており、宝石を持っており、他の人々がそれを持っていなかったなら、最高の優しさと善意による言葉でそれを彼らと分かち合え。もしそれが受け入れられ、その目的が果たされたなら、汝らの目標は達成された。もし誰かがそれを拒否するなら、その者をひとりにさせ、その者を導いて下さるよう神に懇願せよ。その者を不親切に扱ったりせぬよう、注意せよ... (バハオラ、*Gleanings*, CXXXII)

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 21

- 学校ではまず、子供たちを宗教の原則において教育せねばならない。そうすることにより、神のもろもろの書に記されている『報償』と『罰』とが、子供たちを、禁じられた事をなすことから防ぎ、命令のマントによって子供たちを飾るように。しかし、これは無知な狂信や頑迷を生ずることによって子供たちを傷つけない程度になされねばならない。(バハオラ、「バハオラと新時代」、六頁)

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 22

- 権威ある者の義務は、全てのことに對して中庸を持って對処することである。中庸という限度を越すものは何であれ、有益な効果を失うであろう。(バハオラ、*Gleanings*, CX)

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 23

- 中庸は全ての事柄に必要なである。人は、神の行いから教訓を学ばねばならない。というのも、神は、樹が成熟に至るまで長時間成長し続けるようになさる。神は樹を一瞬のうちに実を結ぶまで成長させることがおできになるが、徐々に成長することが英知にかなうのである。(アブドル・バハ、*Star of the West*, Vol. 8, p. 26)

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 24

- 信仰の真髄とは、言葉数が少なく、行動が豊富なことである。言葉数が多く行動が乏しい者は、まことに、死んでいる方がましであることを知れ。(バハオラ:「英知の言葉」)

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 25

- あらゆる宗教制において、神の啓示の光は人類の精神的能力に直接比例して与えられてきたということを確かに知れ。太陽について考えてみよ。地平線上に現れる瞬間の光は微弱であるが、天頂に近づくにつれてそれは徐々にその暖かさと力を増していき、そのあいだ、全創造物がその強まりゆく光の強さに順応していくのを可能にするのである。そしてそれは、沈む地点に至るまで徐々に傾いていく。もし太陽が、その中に潜在するエネルギーを突然現したならば、それは疑いなく、全創造物を傷つけることになるであろう。 . . . 同じように、『真理の太陽』がその顕現の初期に、全能者の摂理によつて与えられた潜在力を突然・完全に明かしたなら、人間の理解という地球は消耗し尽くしてしまうであろう。なぜなら、人間の心は、その啓示の強さに耐えることも、また、その光の輝きを反映することもできないであろうから。人々は狼狽し、圧倒され、息絶えるであろう。(バハオラ、「落穂集・その一」、三八番)

# バハイの宗教観 Baha'i View of Religion 26

- あらゆる宗教制において、神の啓示の光は人類の精神的能力に直接比例して与えられてきたということを確かに知れ。太陽について考えてみよ。地平線上に現れる瞬間の光は微弱であるが、天頂に近づくにつれてそれは徐々にその暖かさと力を増していき、そのあいだ、全創造物がその強まりゆく光の強さに順応していくのを可能にするのである。そしてそれは、沈む地点に至るまで徐々に傾いていく。もし太陽が、その中に潜在するエネルギーを突然現したならば、それは疑いなく、全創造物を傷つけることになるであろう。 . . . 同じように、『真理の太陽』がその顕現の初期に、全能者の摂理によつて与えられた潜在力を突然・完全に明かしたなら、人間の理解という地球は消耗し尽くしてしまうであろう。なぜなら、人間の心は、その啓示の強さに耐えることも、また、その光の輝きを反映することもできないであろうから。人々は狼狽し、圧倒され、息絶えるであろう。(バハオラ、「落穂集・その一」、三八番)

## ルビコース Book 1 第3章 スタディ・サークル参加者の声

- 神についてはよくわからない
- 魂はよくわからない
- 死後の生があるかどうかもわからない
- 人生の目的もわからない
- 関心はあるけれど、実体性のない死後の生のために準備するよりも、今、ここでできることに専念したい。
- 神の存在や魂のことなど、論理的に説明されると逆に良くわからなくなる。
- でも一番関心のあるテーマ
- 神様は存在すると思うけれど、証明はできない。
- これだ！と断言できるような実体性が無い。
- 魂や死後の生も同じような感じ。
- 自分が結婚して子供を身ごもったら、子供はもうすでに魂を持っているんですね。
- これを知っていると知らないとは妊婦生活は全然違ってきます。



**結論**

**Conclusion**

# 結論 Conclusion 1

- 日本人の大部分は単なる無神論者・無宗教者ではない。
- 文化的な要素、道徳的な要素としては受け入れている。
- 自分なりの「信念」がある。
- ある意味ではバハイの考えに近い。
- 「嫌い」なのは「宗教」というよりも、「宗教」にまつわる様々な「邪悪」。
- バハイはこれらの「邪悪」をすべて否定し、打破する。

# 結論 Conclusion 2

- しかし、それでも人が簡単に寄り付かないのは、人々は「言葉でなく行動」を求めているから。また、「愛」を求めているから。
- 一方ではバハイの宗教観を正しく伝える必要がある。
- 同時に、他方では、バハイの宗教観を行動で表す必要がある。

# 結論 Conclusion 3

- 核活動はまさにその効果的な方法。
- 共同体の正式なメンバーになる、信者になるということを心配せずに、活動と実践に参加できる→「関心ある人々の集まり」  
(=Community of Interest)

# 結論 Conclusion 4

- 同胞を愛し、同胞に仕え、共に歩むこと→最後の砦、唯一の方法かUHIJのメッセージどおり(宗教メッセージ、イラン学生)。

# 結論 Conclusion